

棚POWER[®] 操作テキスト

一括編集・応用編

2023 年 5 月



目 次

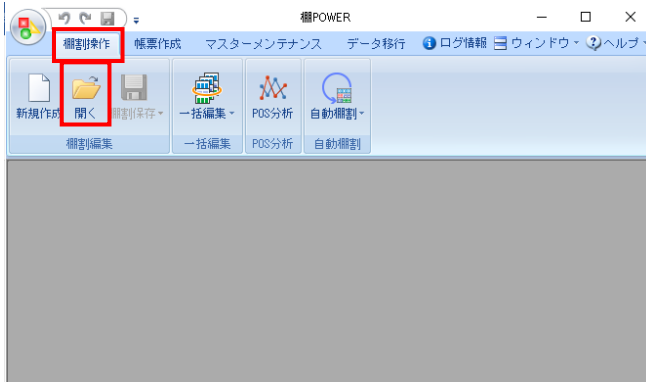
I. 棚割モデルを立体的に表示する	1
3D 表示	1
II. 複数の棚割モデルの情報を変更する	4
棚割モデルの基本情報を変更する(棚割モデル一括編集)	4
不要な棚割モデルを削除する(棚割モデル一括削除)	8
棚割モデルを組み合わせる(棚割モデル結合)	9
複数棚割モデルの陳列在庫を変更する(陳列在庫一括編集)	12
複数棚割モデルの什器を変更する(什器一括編集-什器一括入換)	14
複数棚割モデルの什器情報を変更する(什器一括編集-什器設定一括編集)	17
III. 陳列商品をまとめて入れ換える	20
棚割モデルを複写する(棚割モデル一括複写)	20
棚割モデルに陳列している商品を入換える(商品一括入換)	22
棚割モデルに陳列している商品を削除する(陳列商品一括削除)	26
仮置情報に商品を挿入する(仮置一括挿入)	29
IV. 商品の取扱い状況を確認する	31
棚割モデルの情報を確認する(棚割モデル集計表)	31
商品の取扱い状況を確認する(星取表)	34
棚割モデルと店舗(企業)の割付け状況を変更する(棚割モデル割付)	38
新旧の棚割モデルの比較結果を確認する(追加変更集計表)	41

I. 棚割モデルを立体的に表示する

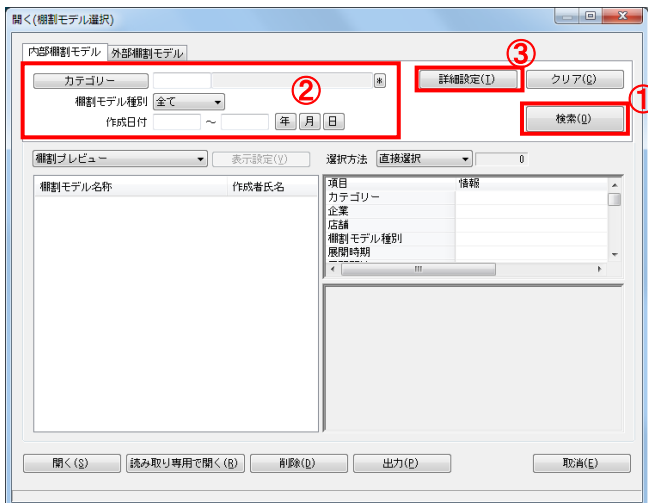
この「操作テキスト 一括編集・応用編」では、作成した棚割モデルを立体的に表示する方法や、複数の棚割モデルに対して一括でモデル名称を変更したり、棚割モデルを削除したり複製したり、また陳列商品を入れ換えたりというように、1つの棚割モデルではなく複数の棚割モデルに対して実施できる機能を中心に説明します。

3D表示では、作成した棚割モデルを立体的に表示して確認したり、3D表示した棚割モデルを印刷したり、画像ファイルとして保存したりすることができます。

立体的に表示することで、複数什器をコの字型やL字型に配置して実際の売場でどのように見えるかを確認できます。

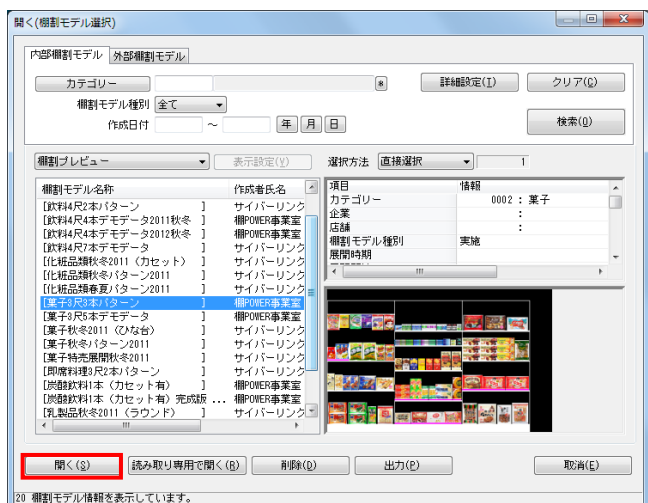


1. 3D表示を行なう棚割モデルを選択します。
[棚割操作] タブ [開く] をクリックします。



2. [検索] ①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます②。

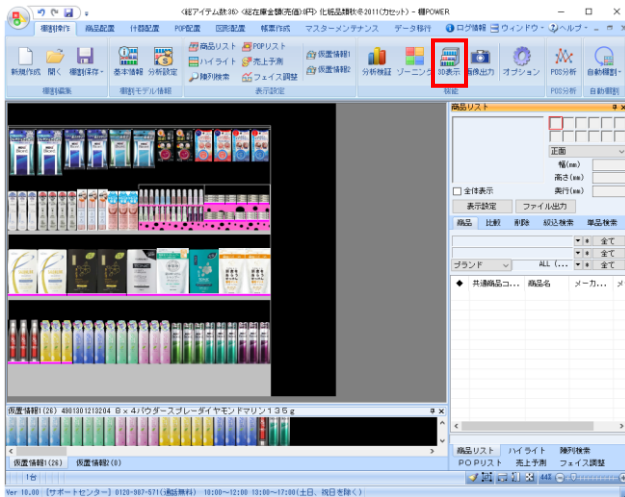
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] ③より選択、検索できます。



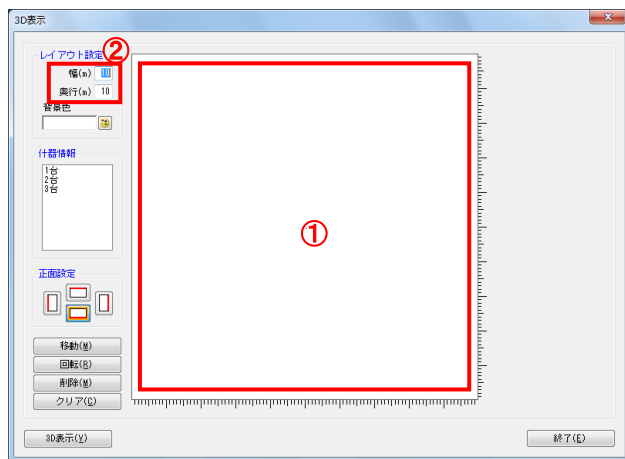
3. 対象の棚割モデルをクリックして選択し、[選択] ボタンをクリックします。

参考

外部棚割モデルを対象にする場合は、[外部棚割モデル] タブに切り替えて、フォルダマークより保存場所を指定し、ファイル形式を選択して [検索] ボタンをクリックしてください。

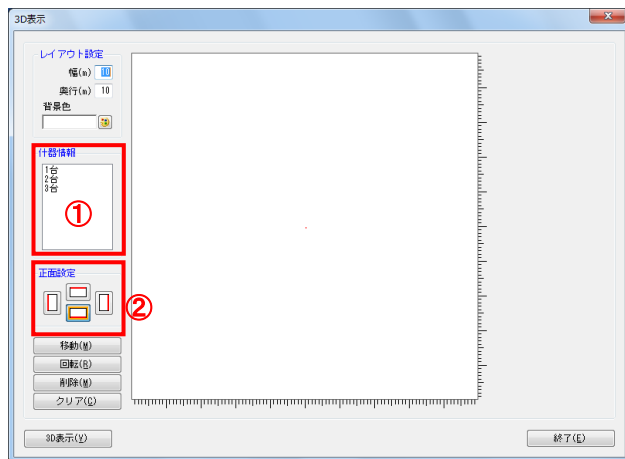


4. 「棚割操作」タブー「3D表示」をクリックします。



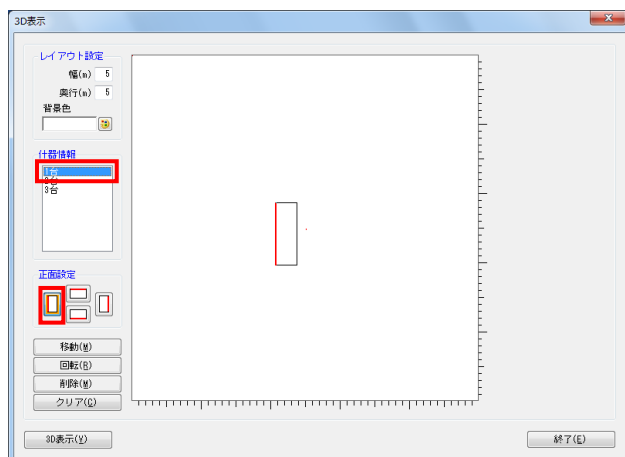
5. まずはどう3D表示をするかの設定を行ないます。

白い四角がフロアとなり、このフロア内に什器を配置していきます。①
フロアの大きさは画面左上の「幅」「奥行」で設定できます。②（単位：メートル）
什器本数が多い場合は広くとり、什器本数が少なく大きく表示したい場合は狭く設定します。



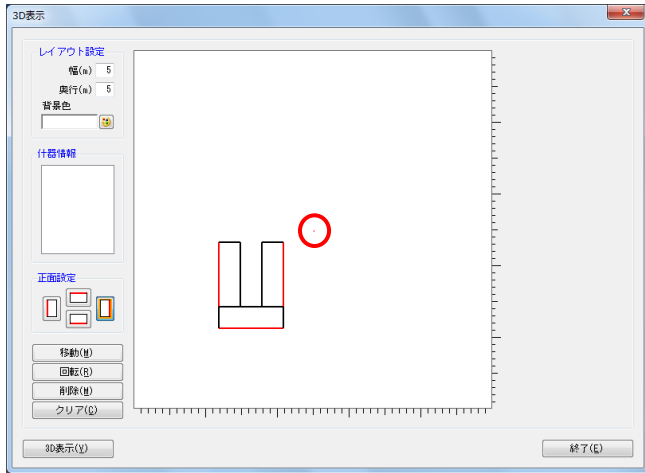
6. 「什器情報」下に表示しているのは棚割モデル内の什器本数です。①
「正面設定」では、什器の正面を左右上下どの位置にするかの設定を行ないます。②

たとえばコの字型に配置する場合、何台目をどの向きにするかをこの「正面設定」で設定します。



7. 什器情報より台をクリックして選択します。

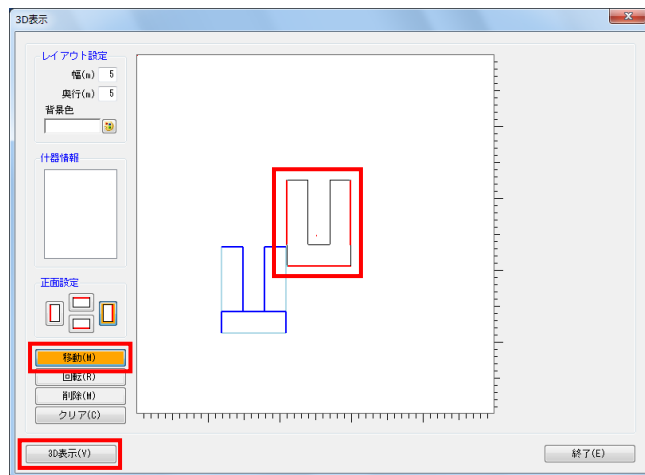
正面設定より選択した台の正面を選択します。
左側を正面としたいため、左向きをクリックします。



8. フロア上にマウスを移動し、配置したい場所でクリックします。

この時、フロア上にある赤い点が3D空間の中心となるため、赤い点を中心にバランスよく台を配置します。

9. 2台目は下向き、3台目は右向きに配置します。



10. フロアに配置後、台を移動したい場合は「移動」をクリックして移動したい台を選択して移動します。
範囲選択も可能なので、まとめて複数台を移動させることもできます。

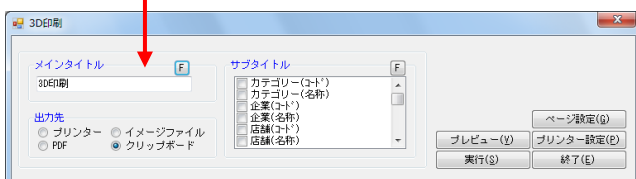
11. 設定完了後、「3D表示」をクリックします。

参考

その他、必要に応じて「背景色」で3D表示時の背景（ウィンドウ）色を変更します。
特に棚色が白の場合は、背景色が白だと見辛くなるため、色を付けることを推奨します。



12. 3D表示後、拡大は「+」ボタンまたはマウスを前へスクロール、縮小は「-」ボタンまたはマウスを後ろへスクロールします。
また、マウスを左クリックしたまま什器を左右上下に動かすことができます。



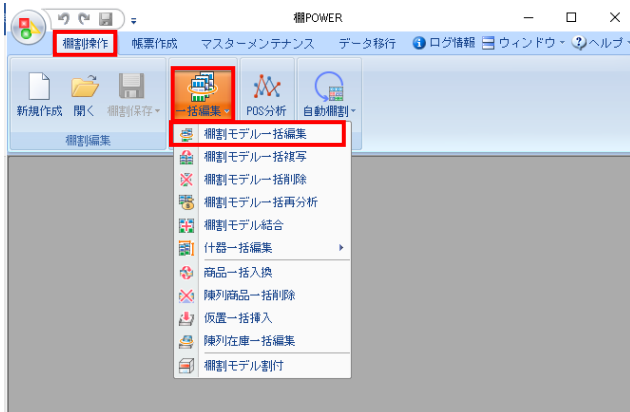
13. 「出力」からは、3D表示を印刷、PDF、画像ファイル出力さらにExcelやPowerPointなど他のソフトに貼り付けるクリップ画像として出力できます。

Ⅱ. 複数の棚割モデルの情報を変更する

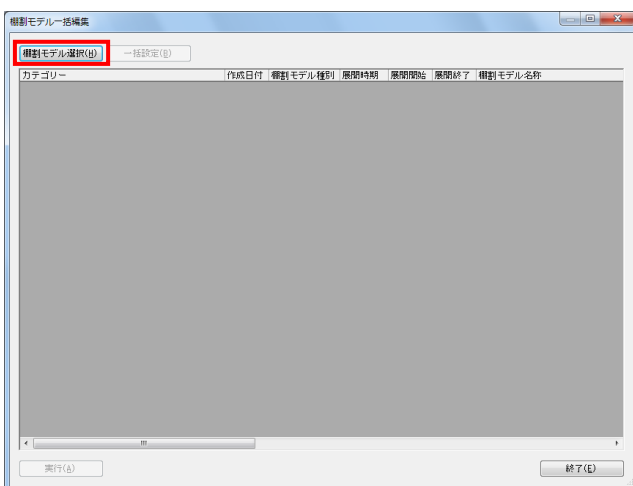
作成した複数の棚割モデルを選択して、一括で棚割モデル名称や作成日付、種別などの基本情報を変更したり、削除したり、組み合わせたりする「一括編集」機能をご説明します。

■棚割モデル一括編集

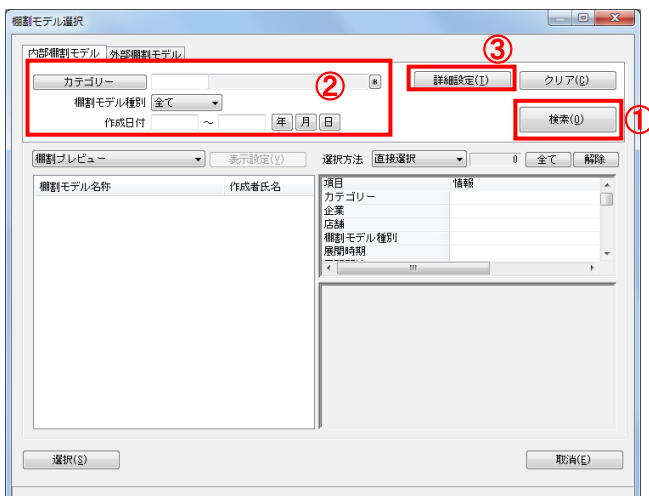
「棚割モデル一括編集」では、選択した棚割モデルの基本情報「カテゴリー」「作成日付」「棚割モデル名称」などをまとめて変更できます。



1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「棚割モデル一括編集」を選択します。

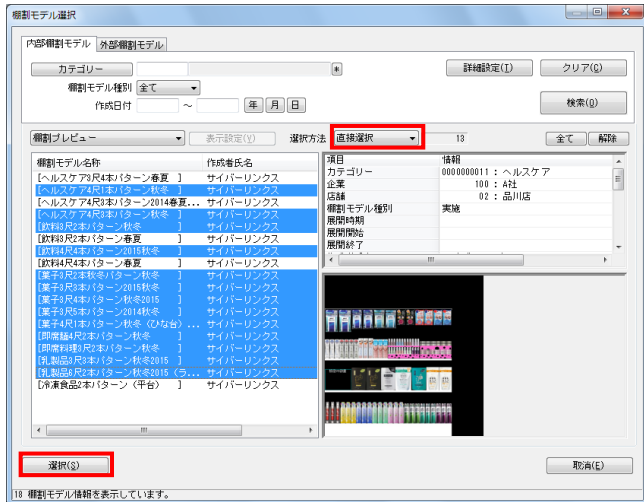


2. 対象の棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。



3. [検索] ①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時 [カテゴリー] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます②。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] ③より選択、検索できます。



4. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。

選択方法が「直接選択」の場合：

キーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。

選択方法が「チェック選択」の場合：

画面左のチェックボックスを有効にします。

5. 「選択」をクリックします。



6. 「棚割モデル一括編集」画面に、選択した棚割モデルの一覧が表示されます。

棚割モデル一括編集で変更できる内容は、「カテゴリ」

「作成日付」「棚割モデル種別」「展開時期」「展開開始」

「展開終了」「棚割モデル名称」「作成者氏名」「棚割分類

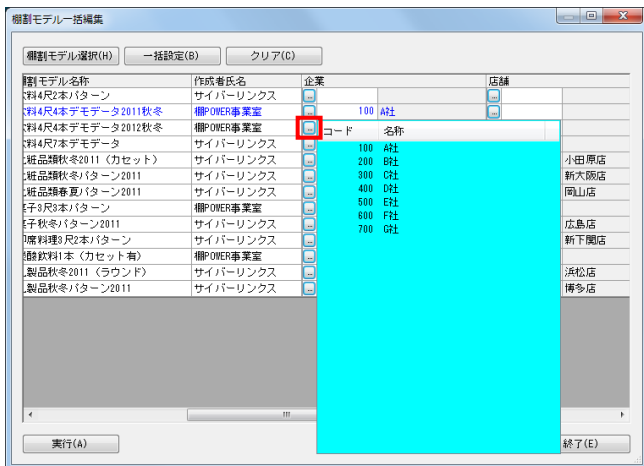
(企業や店舗など)」「棚割モデルコメント」です。

「基本情報」画面に表示される内容すべてを変更可能です。

参考

再度「棚割モデル選択」より棚割モデルを選択すると、はじめに追加した棚割モデルの一覧に、後から選択した棚割モデルを追加します。

選択を削除する場合は「クリア」を実行します。



7. 個別に内容を変更する場合は、セレクトボタン()より選択します。



8. 棚割モデル名称などは直接入力して変更します。

棚割モデル一括編集

棚割モデル選択(H) 一括設定(B) クリア(C)

カテゴリ	作成日付	棚割モデル種別	展開時期	展開開始	展開終了	棚割モデル名称
	20170516	実施	▼			飲料4尺2本パターン
	20170530	実施	▼			飲料4尺4本デモデータ2016秋冬
	20170530	実施	▼			飲料4尺4本デモデータ2017春夏
	20170530	実施	▼			飲料4尺7本デモデータ
品	20170530	実施	▼			化粧品類秋冬2016 (カセット)
品	20170530	実施	▼			化粧品類秋冬パターン2016
品	20170530	実施	▼			化粧品類春夏パターン2016
品	20170522	実施	▼			菓子3尺3本パターン
品	20170530	実施	▼			菓子秋冬パターン2016
料理	20170530	実施	▼			即席料理3尺2本パターン
	20170530	実施	▼			炭酸飲料1本 (カセット有)
品	20170530	実施	▼			乳製品秋冬2016 (ラウンド)
品	20170530	実施	▼			乳製品秋冬パターン2016

実行(A) 終了(E)

9. たとえば、選択した棚割モデルの「作成日付」をすべて同じ新しい日付に変更したい、「棚割モデル名称」内の「2016年」を「2017年」に変更したい等、複数の棚割モデルに対して一括で内容を変更することもできます。

「一括設定」をクリックします。

一括設定

変更(U) 置換(C)

項目: 作成日付

20151225

反映(S) 閉じる(E)

10. 項目より変更する項目を選択します。日付を変更します。「作成日付」を選択し、下の空白に日付を8桁(YYYYMMDD)で入力します。

11. 「反映」をクリックします。

棚割モデル一括編集

棚割モデル選択(H) 一括設定(B) クリア(C)

カテゴリ	作成日付	棚割モデル種別	展開時期	展開開始	展開終了	棚割モデル名称
	20170530	実施	▼			飲料4尺2本パターン
	20170530	実施	▼			飲料4尺4本デモデータ2016秋冬
	20170530	実施	▼			飲料4尺4本デモデータ2017春夏
	20170530	実施	▼			飲料4尺7本デモデータ
品	20170530	実施	▼			化粧品類秋冬2016 (カセット)
品	20170530	実施	▼			化粧品類秋冬パターン2016
品	20170530	実施	▼			化粧品類春夏パターン2016
品	20170530	実施	▼			菓子3尺3本パターン
品	20170530	実施	▼			菓子秋冬パターン2016
料理	20170530	実施	▼			即席料理3尺2本パターン
	20170530	実施	▼			炭酸飲料1本 (カセット有)
品	20170530	実施	▼			乳製品秋冬2016 (ラウンド)
品	20170530	実施	▼			乳製品秋冬パターン2016

実行(A) 終了(E)

12. 選択している棚割モデルの作成日付が変更されます。どこかの項目を変更すると、該当の棚割モデル全体の文字色が青に変わります。

一括設定

変更(U) 置換(C) 複写(M) 挿入(前)(A) 挿入(後)(B)

項目: 棚割モデル名称

検索文字列

置換文字列

反映(S) 閉じる(E)

13. 棚割モデル名称も変更します。項目を「棚割モデル名称」に変更します。

モデル名称内の「秋冬」を「春夏」に変換します。「置換」をクリックします。

一括設定

変更(U) 置換(C) 複写(M) 挿入(前)(A) 挿入(後)(B)

項目: 棚割モデル名称

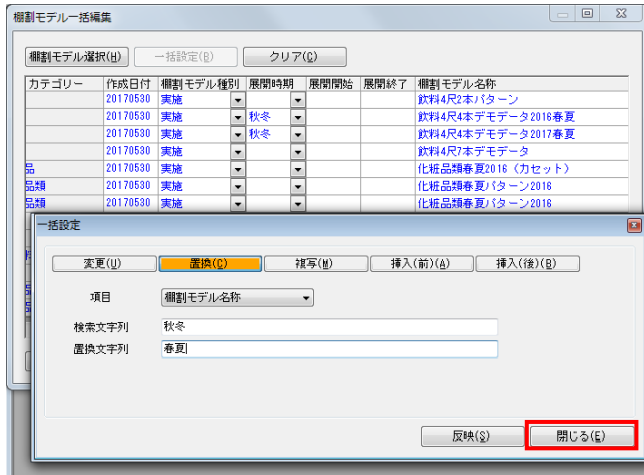
検索文字列: 秋冬

置換文字列: 春夏

反映(S) 閉じる(E)

14. 検索文字列に現在の名称に入っている「秋冬」と入力します。置換文字列に変更後の「春夏」と入力します。

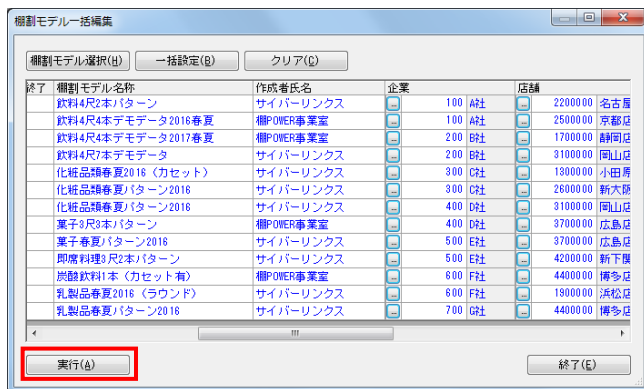
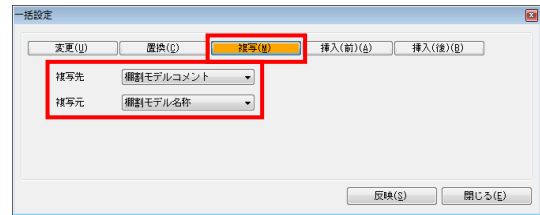
15. 「反映」をクリックします。



16. 一覧内の「秋冬」が「春夏」に置き換わりました。
一括設定が完了したら「閉じる」で画面を閉じます。

参考

項目を複製したい場合は「複製」をクリックし、「複製元」と「複製先」の項目をそれぞれ指定し、「反映」をクリックします。



17. すべての変更が終わったら「実行」をクリックします。

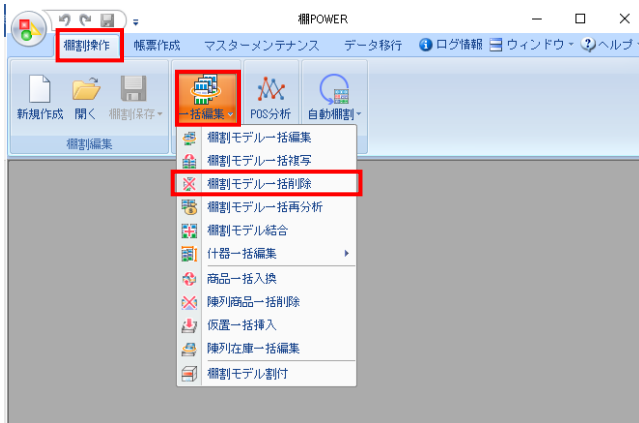
18. 「保存しますか？」メッセージが表示されるため、[はい]をクリックします。
これで選択した棚割モデルの基本情報の変更は完了です。

注意

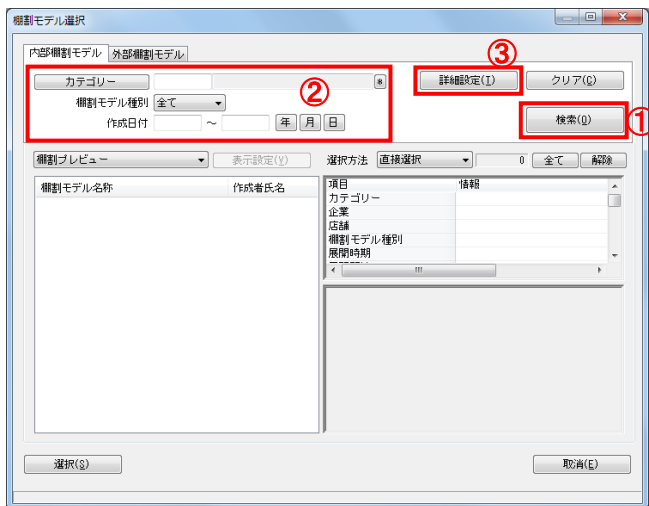
この変更は選択した棚割モデルに上書きしての変更となるため、別の棚割モデルとして保存し、変更したい場合は「棚割モデル一括複製 17ページ」を参照してください。

■棚割モデル一括削除

不要になった棚割モデルを複数選択して一度に削除することができます。

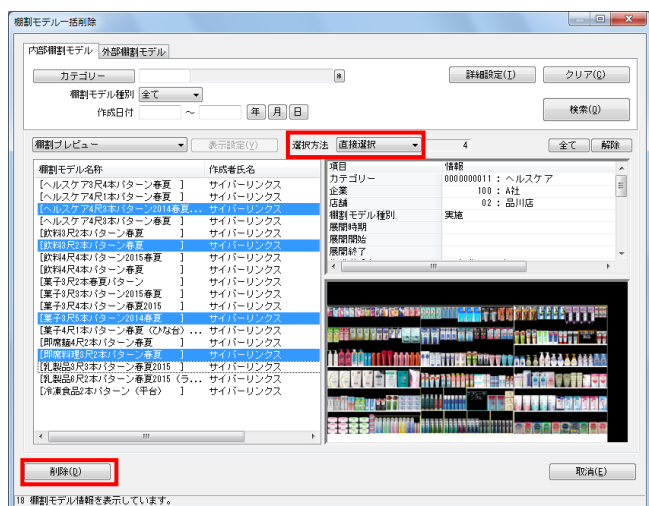


1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
「棚割操作」タブ「一括編集」をクリックし、「棚割モデル一括削除」を選択します。



2. 「検索」(1)をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時「カテゴリ」や「作成日時」を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます(2)。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は「詳細設定」(3)より選択、検索できます。



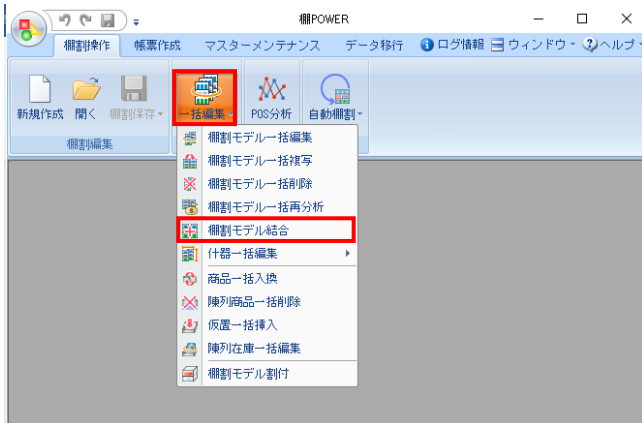
3. 削除したい棚割モデルを選択します。
表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押しながら、棚割モデルをクリックします。
「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。
4. 「削除」をクリックします。
確認メッセージが表示されるため、選択した棚割モデルに問題なければ「はい」をクリックして進めます。

注意

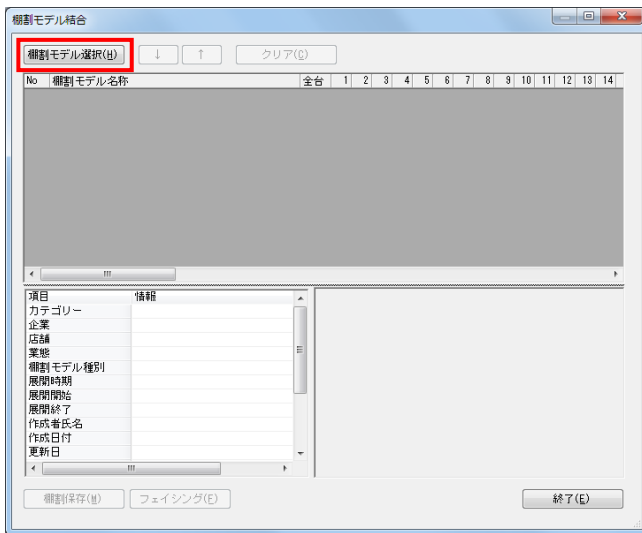
削除した棚割モデルはWindowsのようにゴミ箱にいったん退避することではなく、完全に削除されるため復活できません。削除時は十分にご注意ください。

■棚割モデル結合

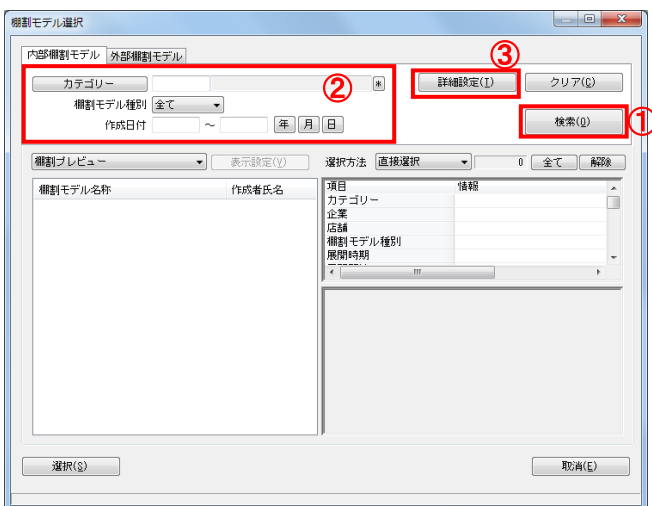
別々に作成した棚割モデルをすべてつなげて1つの棚割モデルにしたり、複数の棚割モデルの台を抜き出し組み合わせて別の棚割モデルを作成したりすることができます。



1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「棚割モデル結合」を選択します。

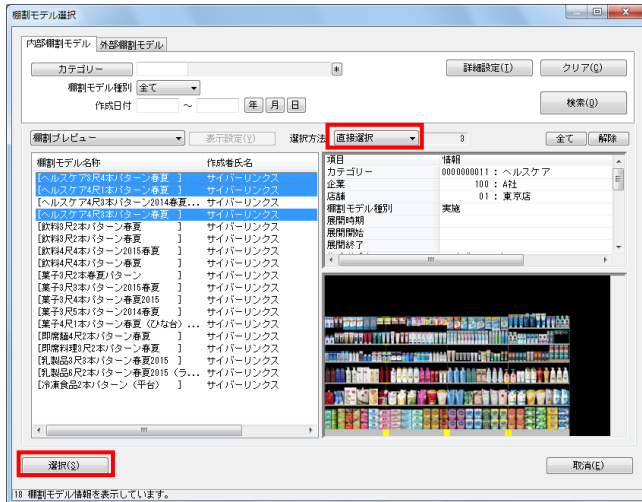


2. 組み合わせる棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。



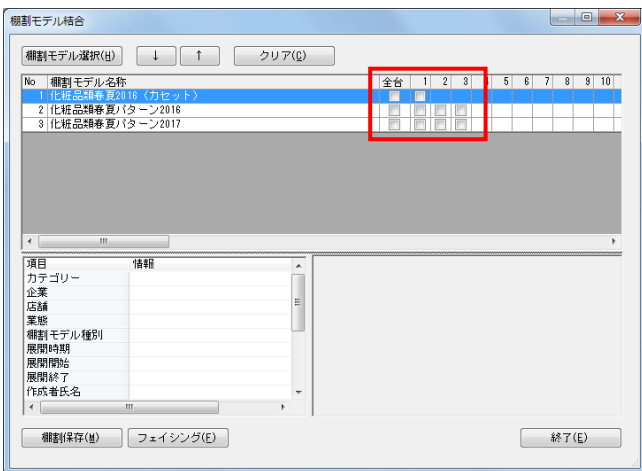
3. [検索] (①) をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます (②)。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] (③) より選択、検索できます。



- 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押しながら、棚割モデルをクリックします。
「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。

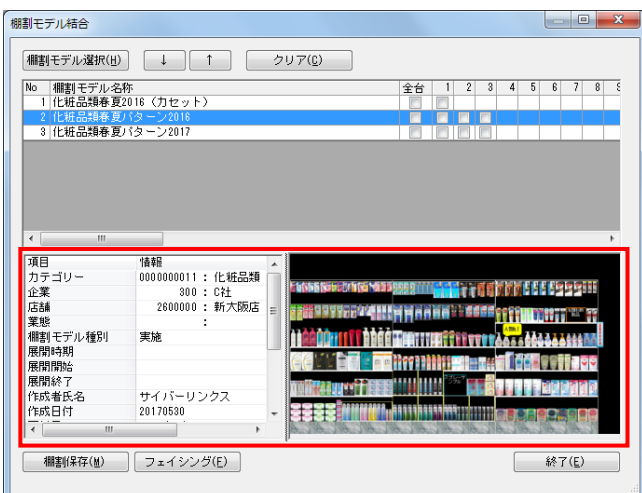
- 「選択」をクリックします。



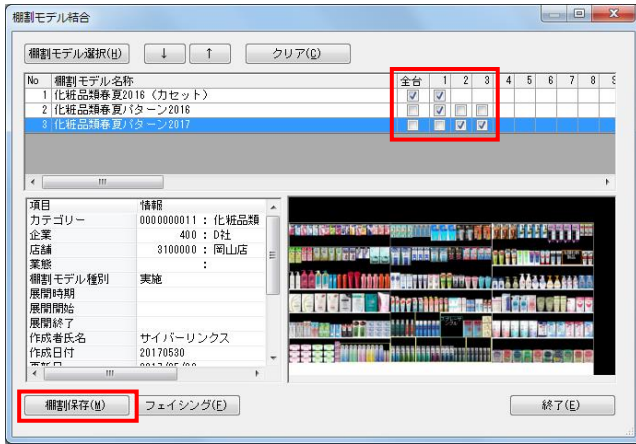
- 棚割モデル結合画面に選択した棚割モデルの一覧が表示されます。
棚割モデル名称横に「全台」チェックボックス、また左から順に「1」は1台目、「2」は2台目というように棚割の什器台数分チェックボックスが表示されます。

参考

再度「棚割モデル選択」より棚割モデルを選択すると、はじめに追加した棚割モデルの一覧に、後から選択した棚割モデルを追加します。
選択を削除する場合は「クリア」を実行します。



- 選択した棚割モデル行をクリックすると、下部に基本情報とプレビューが表示されます。

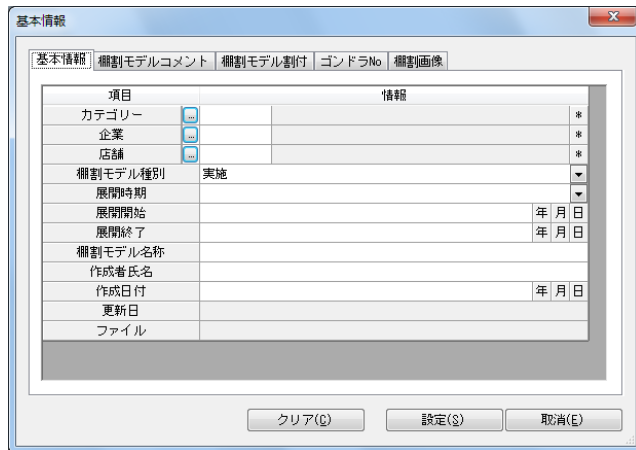


8. 組み合わせたい台（または全台）のチェックボックスを有効にします。

参考

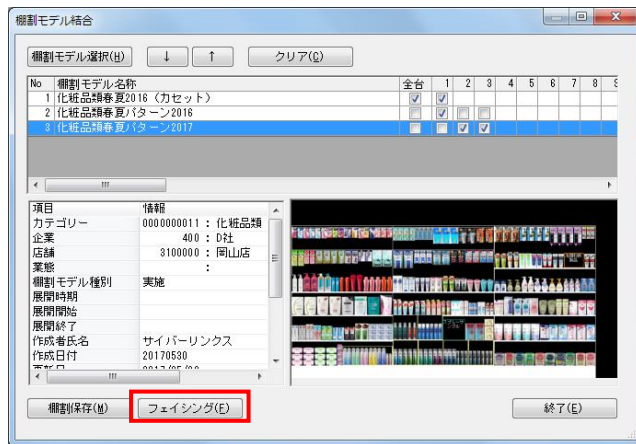
台の組み合わせは、No1の棚割モデルの1台目が左から1台目、No2の棚割モデルの1台目が左から2台目・・・というように棚割モデルの「No」順で左から順に行ないます。

9. 組み合わせた棚割モデルを保存する場合は、[棚割保存] をクリックします。



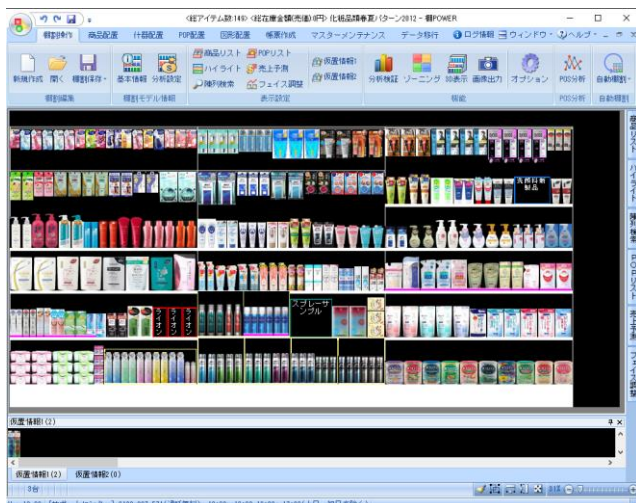
10. 「基本情報」画面が表示されるため、保存する棚割モデルの名称などの必要な情報を入力して[設定] をクリックします。

※内部棚割モデルとして保存されます。



11. 保存より先に棚割編集画面を開いて確認、編集を行ないたい場合は[フェイシング] をクリックします。

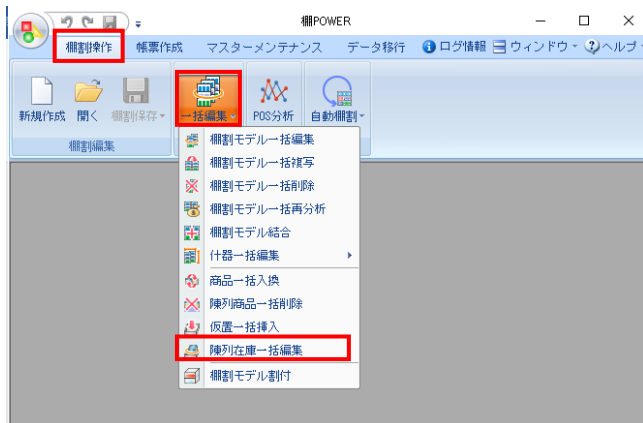
12. 確認メッセージを[はい] で進みます。



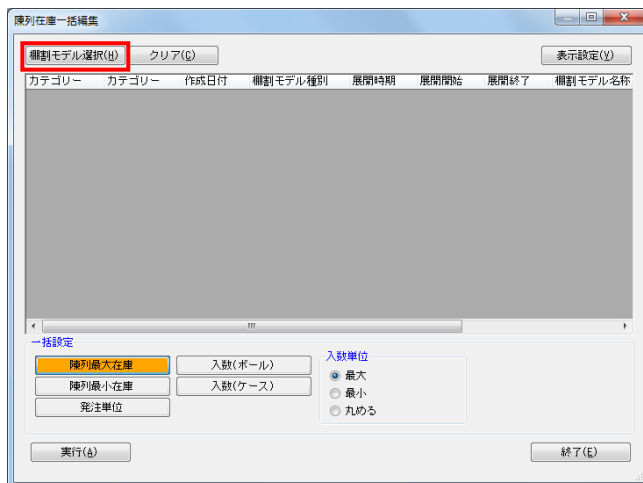
13. 棚割編集画面が表示されました。必要に応じて編集、および棚割保存を行ないます。

■陳列在庫一括編集

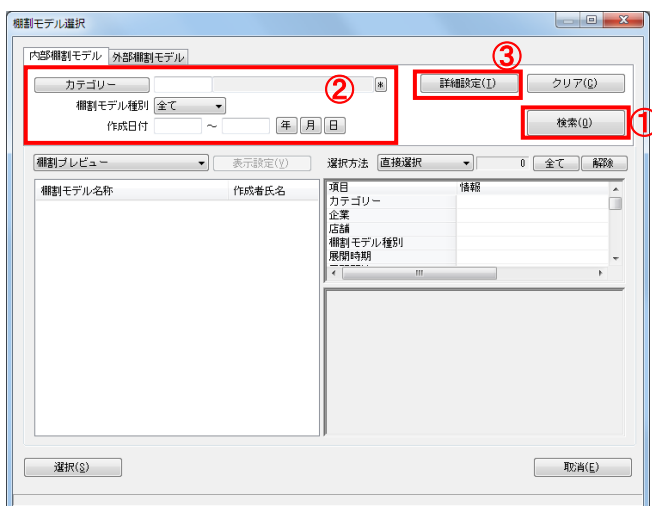
複数の任意の棚割モデルに対して、一括で「最大陳列在庫」や「最小陳列在庫」を設定するなど、陳列在庫を編集できます。



1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「陳列在庫一括編集」を選択します。



2. 陳列在庫を編集したい棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。

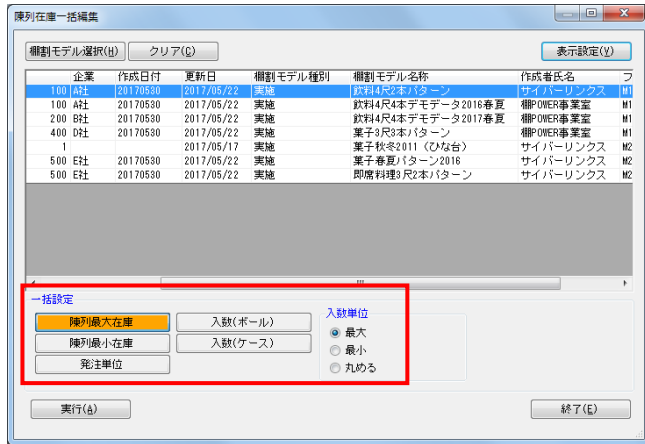


3. [検索] ①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます ②。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] ③より選択、検索できます。

参考

再度 [棚割モデル選択] より棚割モデルを選択すると、はじめに追加した棚割モデルの一覧に、後から選択した棚割モデルを追加します。
選択を削除する場合は [クリア] を実行します。

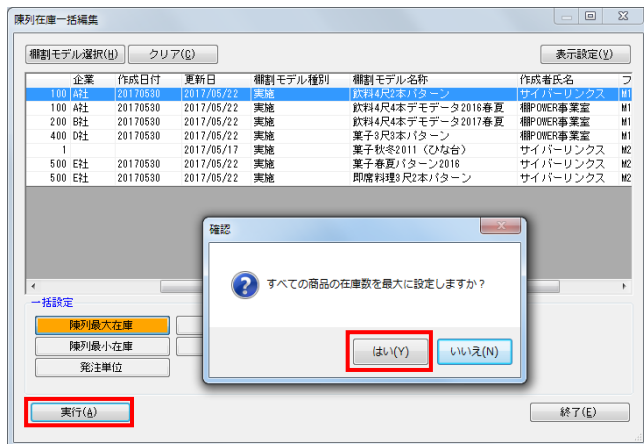
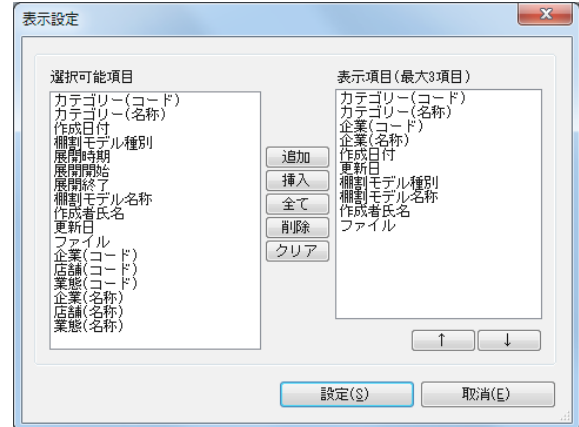


4. 画面下「一括設定」欄より、編集したい機能ボタンを選択します。

陳列最大在庫・陳列商品を棚の奥行いっぱいまで陳列します
陳列最小在庫・陳列商品を最小(フェイス数のみ)にします

参考

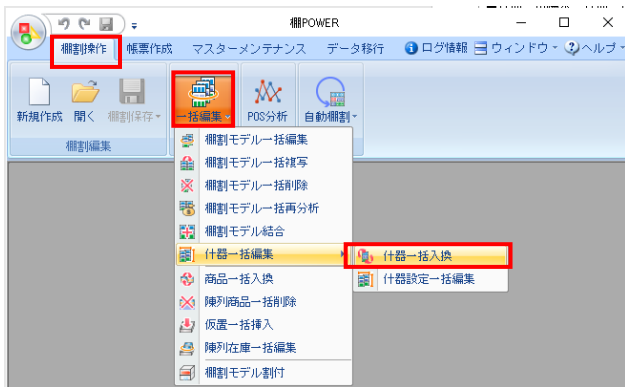
表示する基本情報の内容は、画面右上「表示設定」より設定可能です。



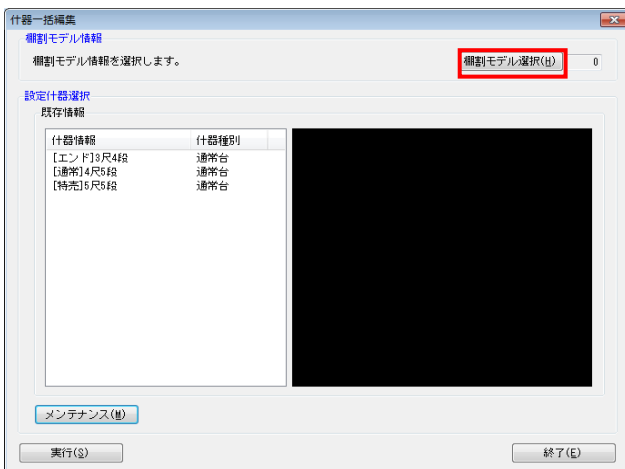
5. 「実行」をクリックします。
6. 確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックします。

■什器一括編集 - 什器一括入換

指定した什器台のサイズ（台幅・台高・棚高等）を、任意の複数の棚割モデルに一括で反映します。複数の棚割モデルの台がすべて同一の什器な場合に活用できます。

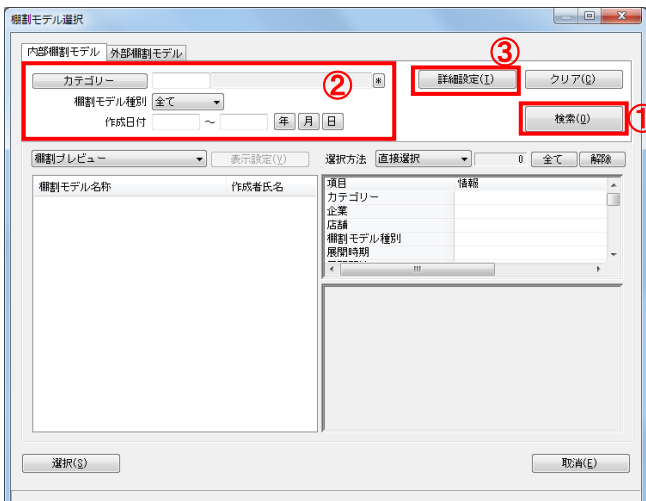


1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「什器一括編集」 - 「什器一括入換」を選択します。



2. 什器を編集したい棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。

3. 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。



4. [検索] (①) をクリックして棚割モデル一覧を表示します。この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます(②)。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] (③) より選択、検索できます。

棚割モデル情報

棚割モデル選択(H) クリア(C) 表示設定(Y)

店舗	棚割モデル	作成日付	棚割モデル名称	作成者氏名	更新日
東京店	実施	20180301	飲料3尺2本パターン2018秋	サイバーリンクス	2018/04/09
東京店	実施	20171101	飲料3尺3本パターン	サイバーリンクス	2018/04/20
東京店	実施	20171101	飲料3尺3本パターン 2018春夏	サイバーリンクス	2018/04/06
東京店	実施		飲料4尺3本パターン2018春夏	サイバーリンクス	2018/04/13

設定保存(S) 設定読み(B) 閉じる(E)

5. 選択したモデルが表示されます。
[閉じる] ボタンを押して画面を閉じます。

6.

参考

表示する基本情報の内容は、画面右上 [表示設定] より設定可能です。

表示設定

選択可能項目

- カテゴリー(コード)
- カテゴリー(名称)
- 作成日付
- 棚割モデル種別
- 展開時期
- 展開開始
- 展開終了
- 棚割モデル名称
- 作成者氏名
- 更新日
- ファイル
- 企業(コード)
- 店舗(コード)
- 業態(コード)
- 企業(名称)
- 店舗(名称)
- 業態(名称)

表示項目(最大3項目)

- カテゴリー(コード)
- カテゴリー(名称)
- 企業(コード)
- 企業(名称)
- 作成日付
- 更新日
- 棚割モデル種別
- 棚割モデル名称
- 作成者氏名
- ファイル

追加 挿入 全て 削除 クリア

設定(S) 取消(E)

7. [設定什器選択] より登録されている什器を選択し、[実行] をクリックします。
8. 確認メッセージが表示されます。
[はい] をクリックします。

これで選択した什器が、指定した全棚割モデルに反映されます。

什器一括編集

棚割モデル情報

棚割モデル情報を選択します。 棚割モデル選択(H) 4

設定什器選択

既存情報

什器情報	什器種別
[エンド]3尺4段	通常台
[通常]4尺5段	通常台
[特売]5尺5段	通常台

メンテナンス(M)

実行(S) 終了(E)

什器一括編集

棚割モデル情報

棚割モデル情報を選択します。 棚割モデル選択(H) 4

設定什器選択

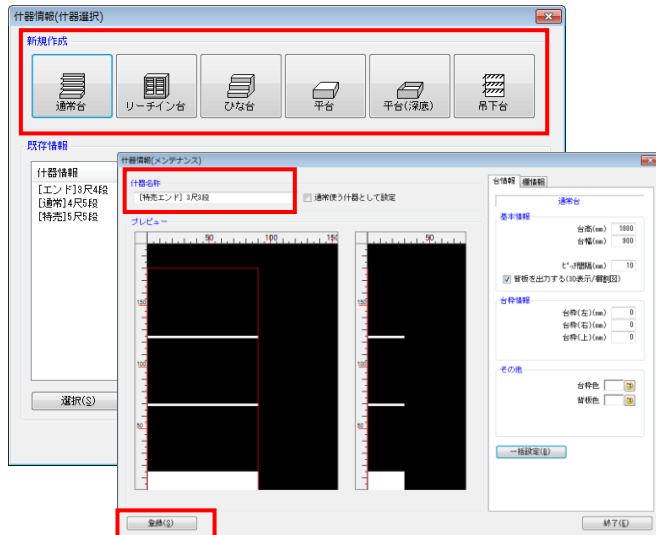
既存情報

什器情報	什器種別
[エンド]3尺4段	通常台
[通常]4尺5段	通常台
[特売]5尺5段	通常台

メンテナンス(M)

実行(S) 終了(E)

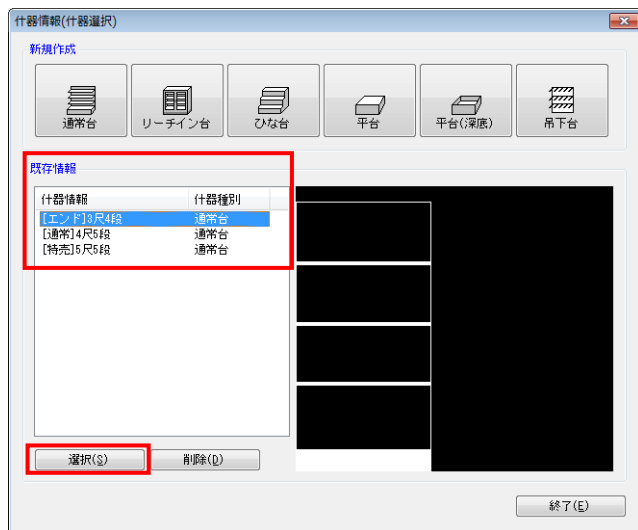
9. [設定什器選択] で既に登録されている什器の情報を編集する場合や、新しく什器を登録する場合は、[メンテナンス] をクリックして編集します。



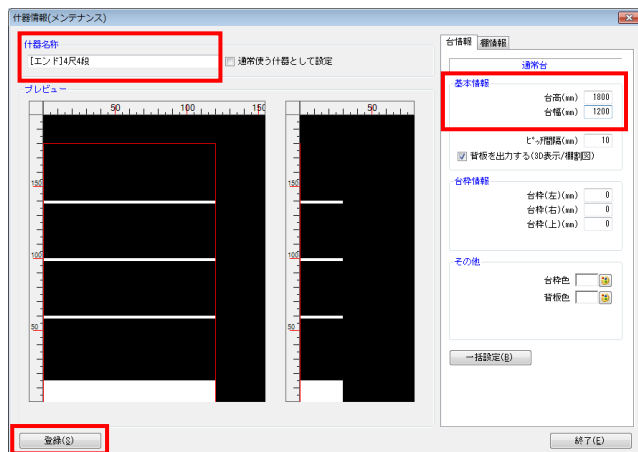
10. 新たに登録する場合は、新規作成より希望の什器を選択し、編集します。

什器名称は必須項目のため、必ず入力します。

11. 編集が終われば、[登録] ボタンを押します。



12. 既に登録している什器を編集する場合は、既存情報より編集する什器を選択します。

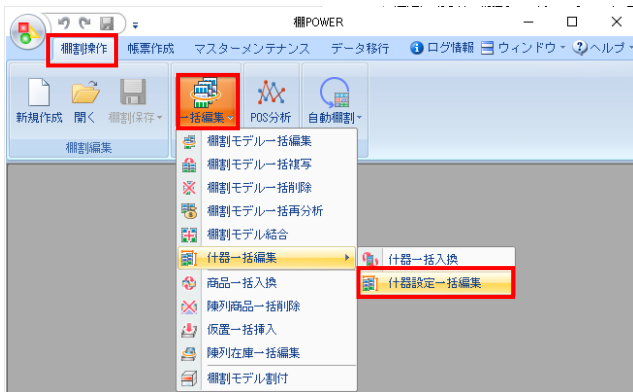


13. 什器の編集をし、編集後は [登録] ボタンを押します。

14. 確認メッセージが表示されます。
[はい] をクリックします。

■什器一括編集 - 什器設定一括編集

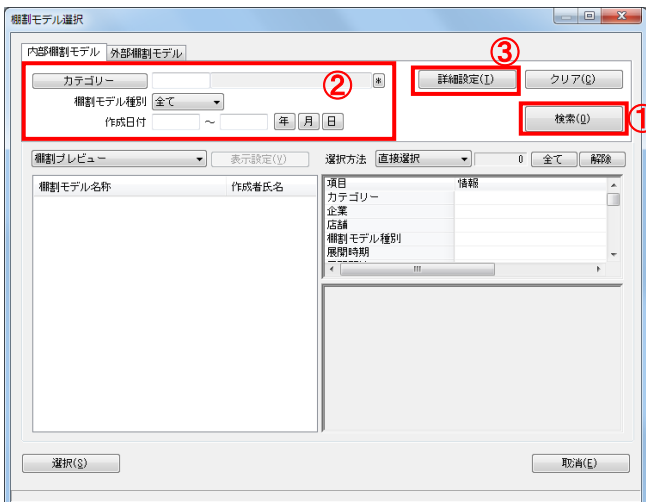
任意の複数の棚割モデルに対して、台高や台幅、圧縮率などを一括で設定できます。



1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ - [一括編集] をクリックし、「什器一括編集」 - 「什器設定一括編集」を選択します。

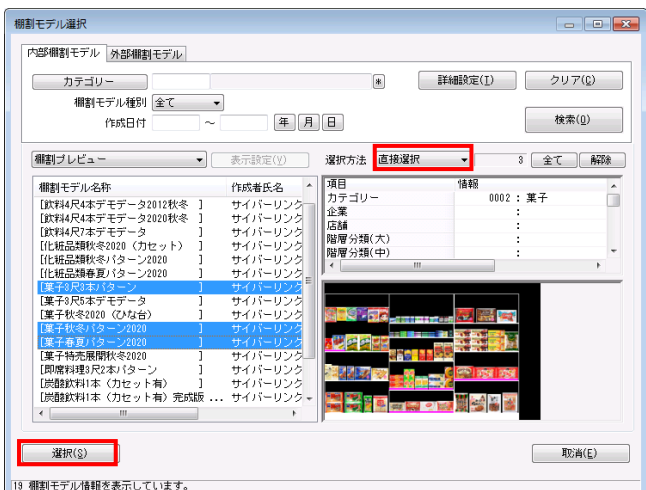


2. 什器設定を変更した棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。



3. [検索] (①) をクリックして棚割モデル一覧を表示します。この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます (②)。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] (③) より選択、検索できます。



4. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。

選択方法が「直接選択」の場合：
キーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。
選択方法が「チェック選択」の場合：
画面左のチェックボックスを有効にします。

5. [選択] をクリックします。



6. 「什器設定一括編集」画面に、選択した棚割モデルの什器情報が表示されます。

什器設定一括編集で変更できる内容は、「台高」「台幅」「ピッチ間隔」「背板を出力する(3D表示／棚割図)」「背板色」「圧縮率」です。

参考

再度「棚割モデル選択」より棚割モデルを選択すると、はじめに追加した棚割モデルの一覧に、後から選択した棚割モデルが追加されます。選択を削除する場合は「クリア」を実行します。



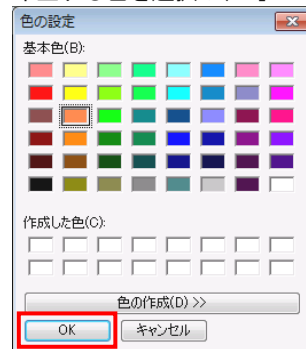
7. 各棚割モデルで変更したい箇所をダブルクリックし、什器設定を変更します。
「台高」「台幅」「ピッチ間隔」の値は直接入力ができます。



8. 「背板を出力する(3D表示／棚割図)」は、チェックボックスで指定します。
「背板色」はセルをクリックし、パレットより色を指定します。
「圧縮率」は項目横のボタン「▼」をクリックし、任意の数値を選択します。

参考

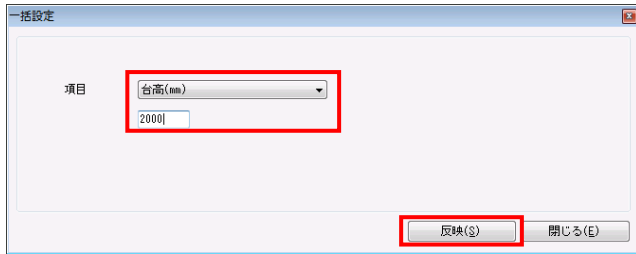
背板色を設定をする際は、下記のパレットが表示します。希望する色を選択し、「OK」ボタンを押してください。



9. たとえば、選択した棚割モデルの「台高」をすべて同じ値に変更したい場合は、複数の棚割モデルに対して一括で内容を変更することもできます。

「一括設定」をクリックします。





10. 項目より変更する項目を選択します。「台高」を選択し、下の空白に変更後の値を入力します。

11. 「反映」をクリックします。



12. 選択した「台高」が変更されます。どこかの項目を変更すると、該当の棚割モデル全体の文字色が青に変わります。

一括設定が完了したら「閉じる」で画面を閉じます。



13. すべての変更が終わったら「実行」をクリックします。

14. 「実行しますか？」メッセージが表示されるため、「はい」をクリックします。

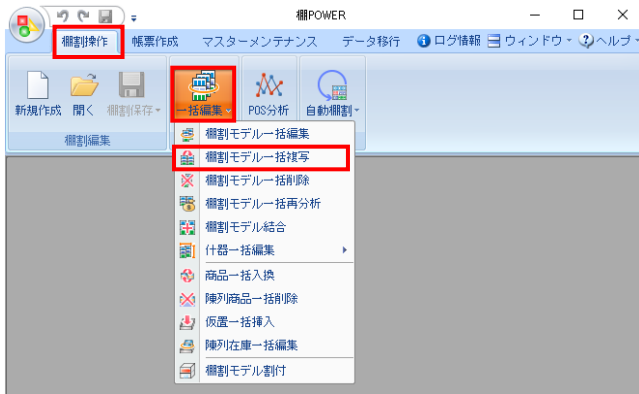
Ⅲ. 陳列商品をまとめて入れ換える

既存の複数の棚割モデルに対して、一括で陳列商品を差し替えたり、削除したり、仮置情報に置いたりすることも「一括編集」機能から可能です。

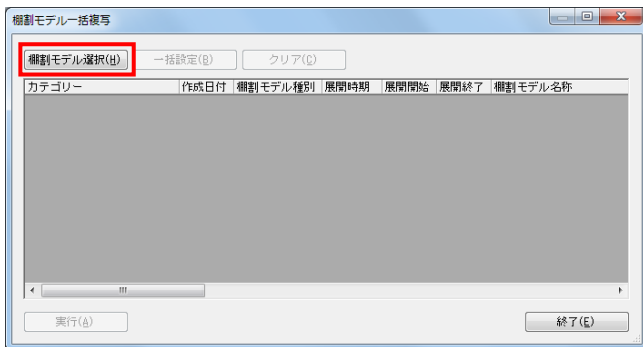
■棚割モデル一括複写

既存の棚割モデルから陳列商品を削除する際、差し替えする際、あとから変更前と変更後の棚割モデルを比較して追加やカットの商品を確認する場合は、変更前の棚割モデルを残しておく必要があります。

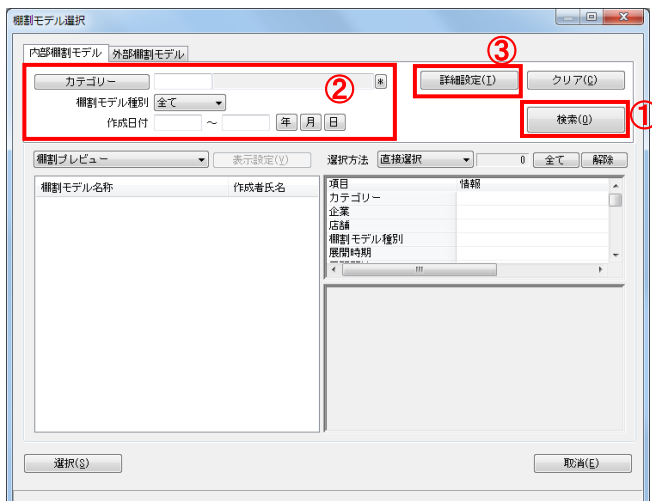
このような場合に使用するのが「棚割モデル一括複写」機能です。



1. 表示している棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
「棚割操作」タブ-「一括編集」をクリックし、「棚割モデル一括複写」を選択します。

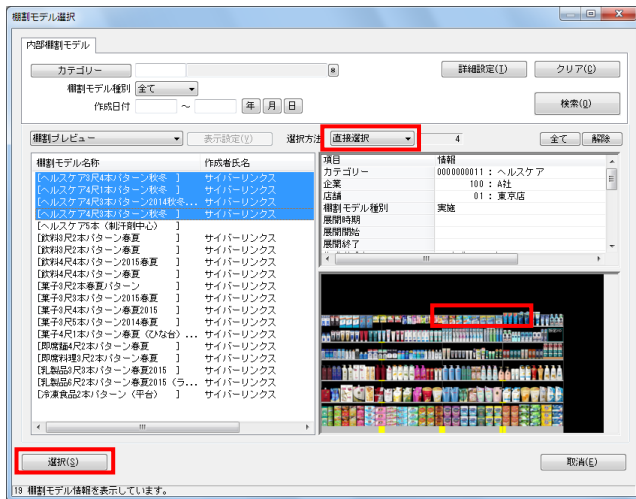


2. 複写したい棚割モデルを選択します。
「棚割モデル選択」をクリックします。



3. 「検索」①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時「カテゴリー」や「作成日時」を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます②。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は「詳細設定」③より選択、検索できます。



4. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。

選択方法が「直接選択」の場合：

キーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。

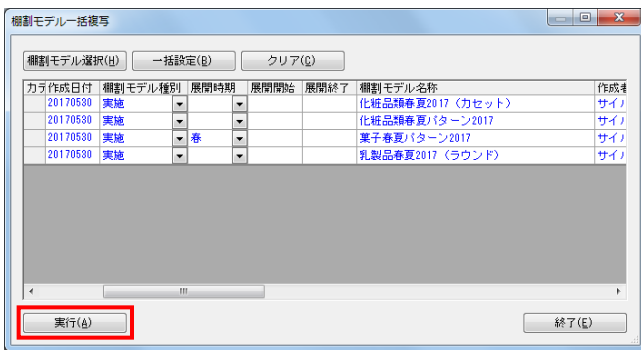
選択方法が「チェック選択」の場合：

画面左のチェックボックスを有効にします。

5. 「選択」をクリックします。

参考

再度「棚割モデル選択」より棚割モデルを選択すると、はじめに追加した棚割モデルの一覧に、後から選択した棚割モデルが追加されます。
選択を削除する場合は「クリア」を実行します。



6. 「棚割モデル一括複写」画面に、選択した棚割モデルの一覧が表示されます。

この画面上で、複写する前に「作成日付」や「棚割モデル名称」などの基本情報を変更することができます。

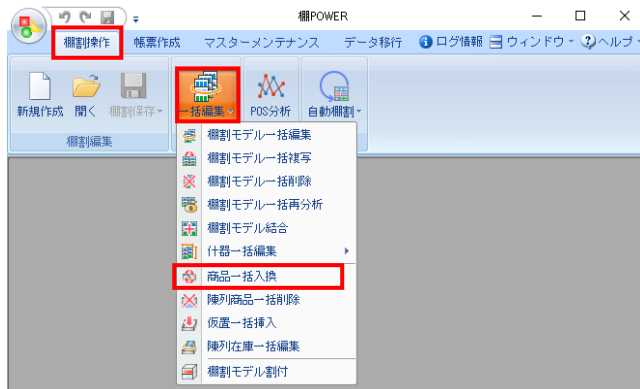
参考

「棚割モデル一括編集」と同じく、全基本情報の内容を変更できます。
変更方法は「棚割モデル一括編集 5ページ 6～16」を参照してください。

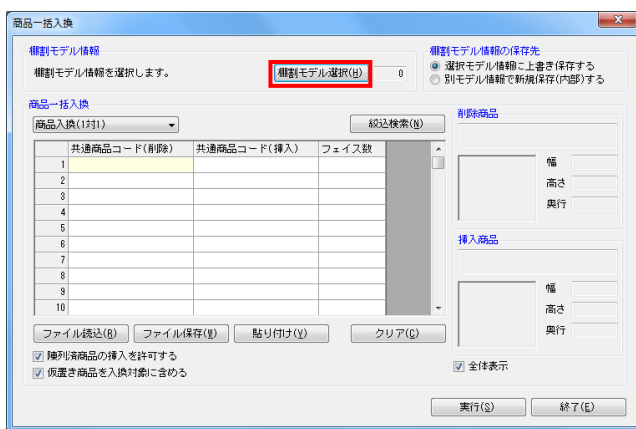
7. 「実行」をクリックします。
これで選択した棚割モデルが複写されました。

■商品一括入換

新商品の発売による商品の改廃が発生した場合など、複数の棚割に陳列している商品を別の商品に一括で差し替えるには「商品一括入換」を使用します。

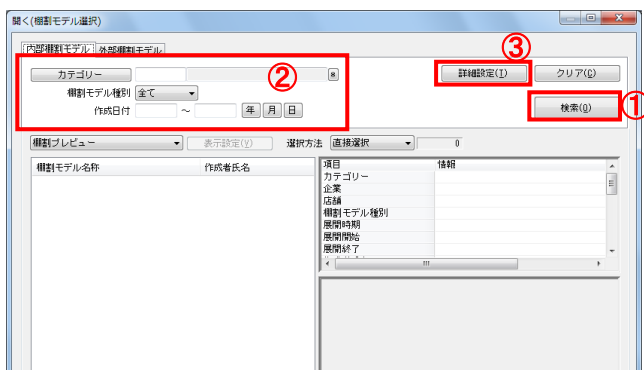


1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「商品一括入換」を選択します。



2. 入れ換える棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。

3. 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。

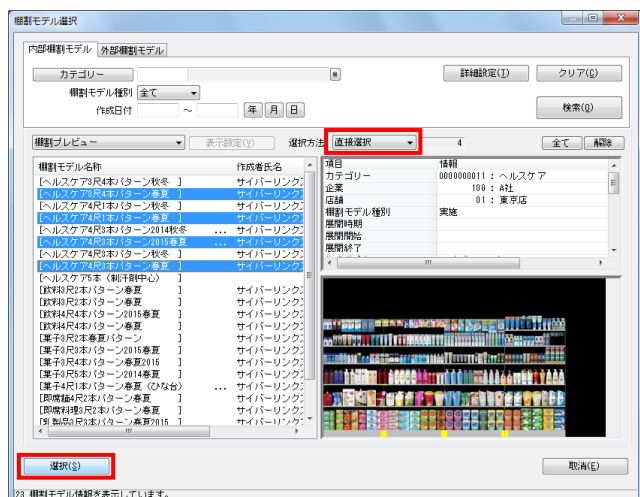


4. [検索] ①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時 [カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます②。

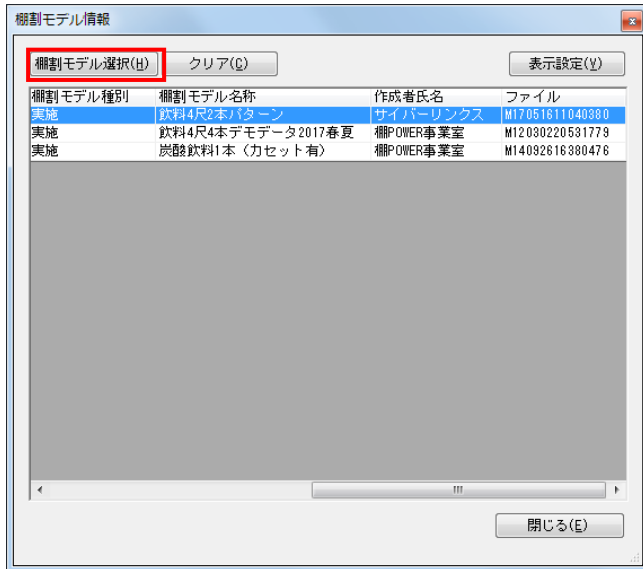
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] ③より選択、検索できます。

5. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。

選択方法が「直接選択」の場合：
キーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。
選択方法が「チェック選択」の場合：
画面左のチェックボックスを有効にします。

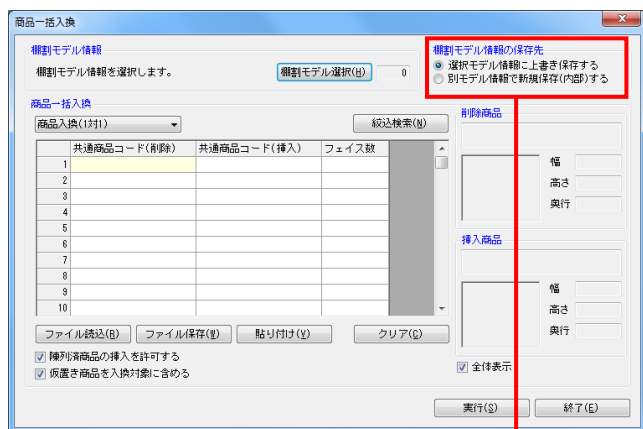


6. [選択] をクリックします。



7. 更に棚割モデルを追加したい時は、再度「棚割モデル選択」をクリックして、棚割モデル選択画面より棚割モデルを選択します。
 選択した棚割モデルを解除する時は「クリア」をクリックしてから、新たに棚割モデルを選択します。

「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は「閉じる」で閉じてください。



8. 【棚割モデル情報の保存先】
 入換後の棚割モデルを上書きするか、別の棚割モデルとして保存するかを選択します。

「選択モデル情報に上書き保存する」
 選択している棚割モデルを陳列変更後の内容で上書き保存します

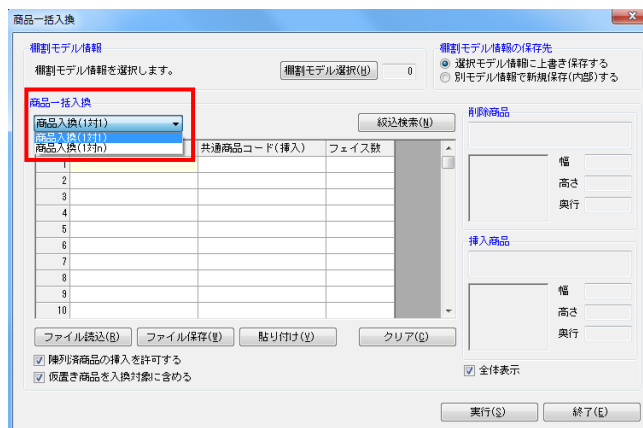
「別モデル情報で新規保存（内部）する」
 選択している棚割モデルはそのまま残し、別に陳列変更後の内容の棚割モデルを内部モデルとして保存します

すでに棚割モデルの複写を行なっている場合や、変更前の棚割モデルを残す必要がない場合は「上書き保存」を選択します。

棚割モデル情報の保存先
☒ 選択モデル情報に上書き保存する
☐ 別モデル情報で新規保存(内部)する

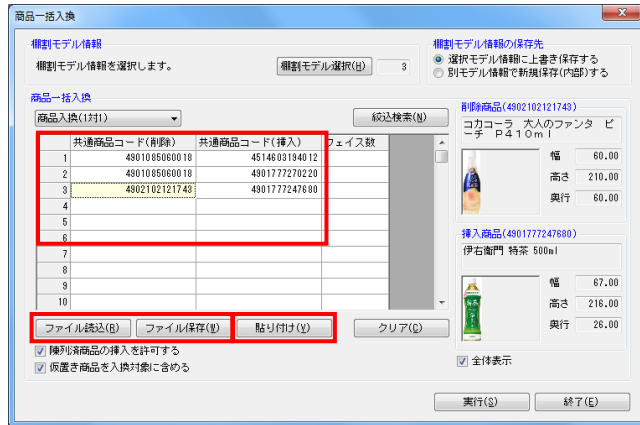
参考

「別モデル情報で新規保存（内部）する」を選択した場合、モデル名称や棚割分類などを設定する「棚割モデル一括編集」の画面が開きます。商品一括入換後にモデルを別名で保存したい場合などは情報を変更してください。詳細は5ページを参照してください。



9. 【商品一括入換モード】
 「商品入換（1対1）」
 A商品をカットして、代わりにB商品を挿入するというように1商品対1商品で入換えをする場合に使用します

「商品入換（1対n）」
 A商品をカットして、代わりにB商品、C商品を挿入するというように1商品対複数商品で入換えをする場合に使用します



10. 今回は「商品入換（1対1）」を使用します。
「共通商品コード（削除）」欄に、棚からカットする商品の共通商品コード（JANコード）を入力します。

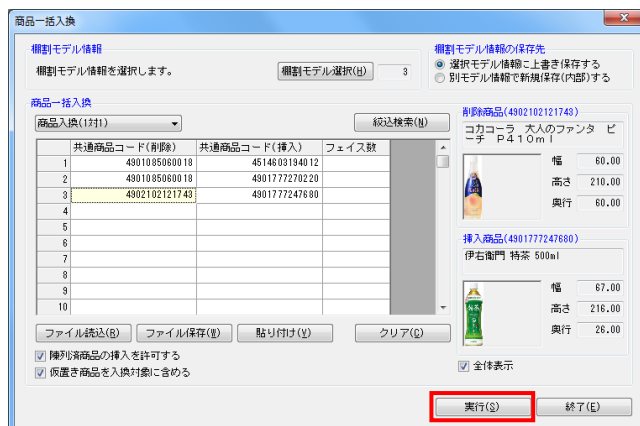
「共通商品コード（挿入）」欄に、新たに棚に陳列する商品の共通商品コード（JANコード）を入力します。

※「フェイス数」未入力時は、陳列しているフェイス数そのままで入換を行いません。

参考

「ファイル読込」からは、削除商品、挿入商品の共通商品コードを記載したExcelなどのファイルを読込んで商品の指定ができます。
読込みに使用するファイル書式は「ファイル保存」より出力可能です。
また、Excelなどに記載されている共通商品コードをコピーした後、「貼り付け」をクリックして欄内にコピーした共通商品コードを貼り付けることもできます。

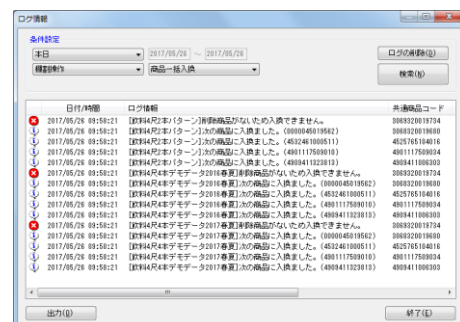
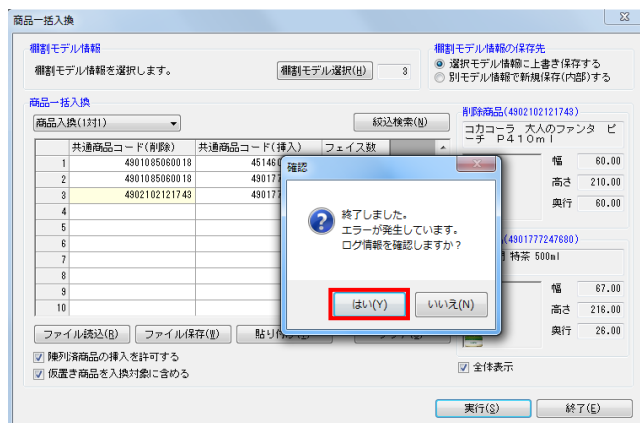
11. すでに棚に陳列している商品を挿入する場合は「陳列済商品の挿入を許可する」を有効にします。
また、仮置情報に陳列されている商品も対象にする場合は「仮置き商品を入換対象に含める」を有効にします。
12. 入力後、「実行」をクリックします。
確認メッセージが表示されるため、「はい」で続行します。



注意

削除する商品よりも、挿入する商品の幅（サイズ）が大きくなり棚に収まりきらなくなる場合は、棚割編集画面を表示した際、挿入した商品の棚の一番右端の商品からこぼれる可能性があります。

13. 実行後、確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックして「ログ情報」を確認します。



ログ情報画面で処理内容を確認できます。

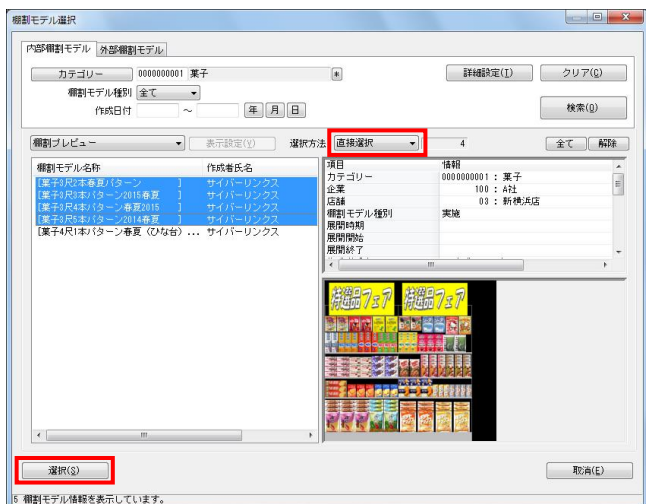
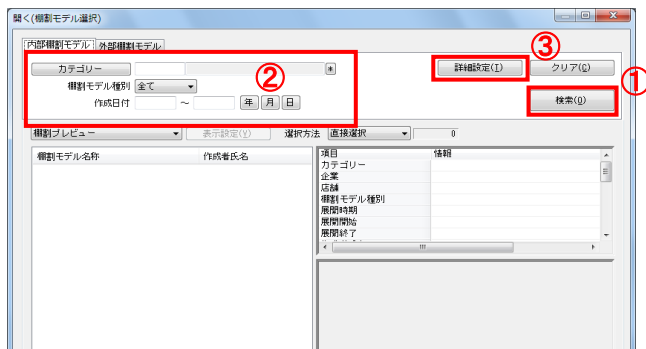
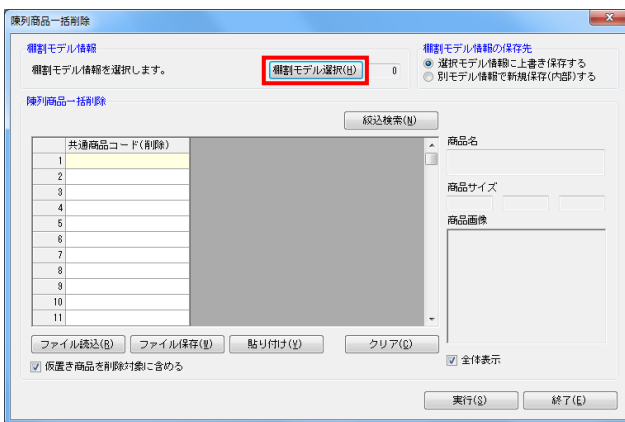
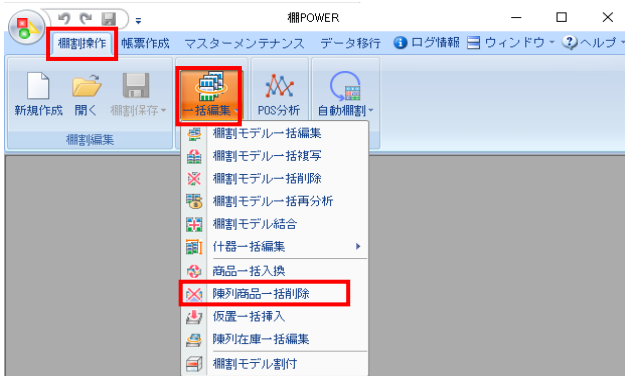
削除商品が陳列されていなかった棚割モデルは処理を行いません。
処理を行なった棚割モデルの名称と、対象の商品の共通商品コードをログ情報で確認できます。



14. 「別モデル情報で新規保存（内部）する」を選択した場合、モデル名称や棚割分類などを設定する「棚割モデル一括編集」の画面が開きます。
商品一括入換後にモデルを別名で保存したい場合などは情報を変更してください。
詳細は「棚割モデル一括編集」5ページを参照してください。

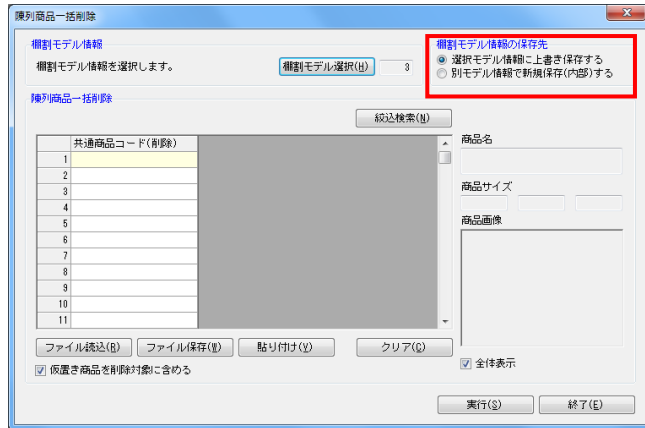
■陳列商品一括削除

「商品一括入換」では陳列商品をカットして、別の商品を代わりに挿入しましたが、「陳列商品一括削除」では、陳列商品のカットのみを行いません。

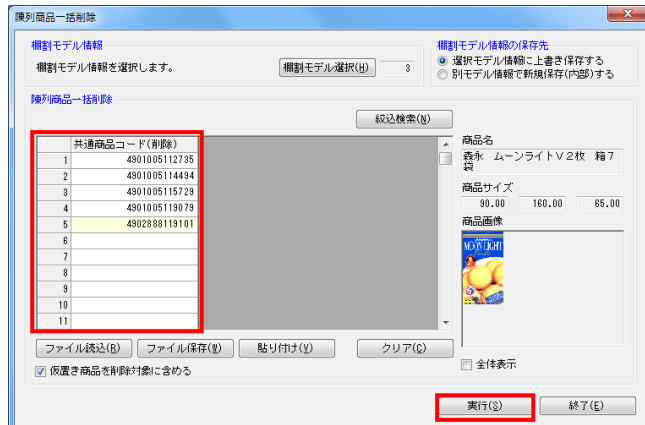


- 表示している棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ [一括編集] をクリックし、「陳列商品一括削除」を選択します。
- 陳列商品を削除する棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。
- 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。
- [検索] をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時、[カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます。
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] より選択、検索できます。
- 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。
「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。
- [選択] をクリックします。
更に棚割モデルを追加したい時は、再度 [棚割モデル選択] をクリックして、棚割モデル選択画面より棚割モデルを選択します。
選択した棚割モデルを解除する時は [クリア] をクリックしてから、新たに棚割モデルを選択します。

「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は [閉じる] で閉じてください。



7. 【棚割モデル情報の保存先】より、選択した棚割モデルに上書きするか、別の棚割モデルとして保存するかを選択します。（詳細は15ページ 7を参照してください。）



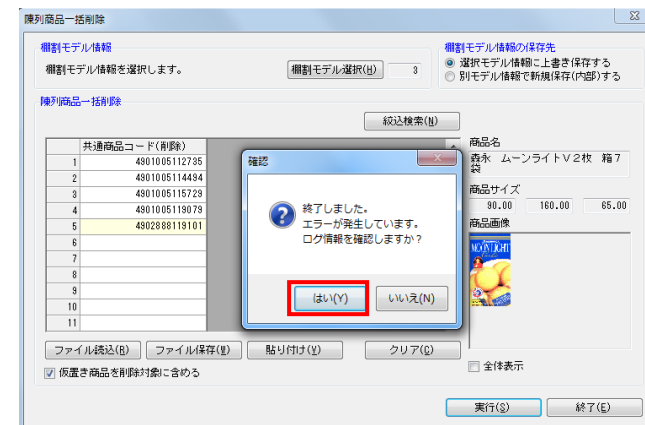
8. 「共通商品コード（削除）」欄に、棚からカットする商品の共通商品コード（JANコード）を入力します。

参考

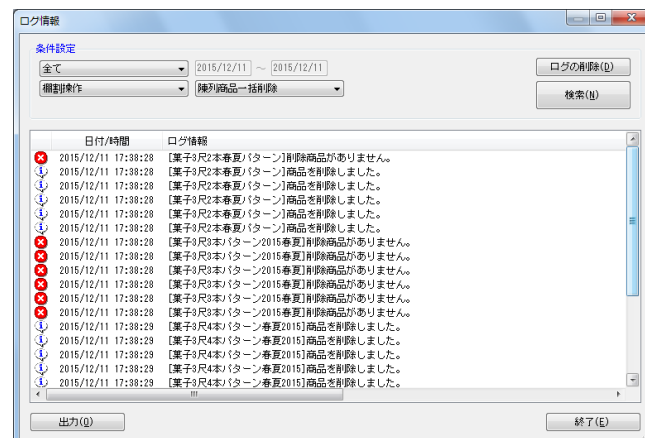
「ファイル読込」からは、削除商品の共通商品コードを記載したExcelなどのファイルを読込んで商品の指定ができます。読込みに使用するファイル書式は「ファイル保存」より出力可能です。また、Excelなどに記載されている共通商品コードをコピーした後、「貼り付け」をクリックして欄内にコピーした共通商品コードを貼り付けることもできます。

9. 仮置情報に陳列されている商品も対象にする場合は「仮置き商品を削除対象に含める」を有効にします。

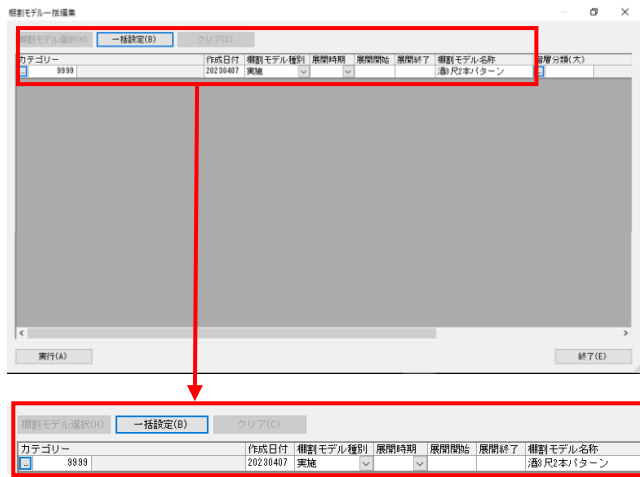
入力後、「実行」をクリックします。



10. 実行後、確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックして「ログ情報」を確認します。



11. ログ情報画面で処理内容を確認できます。削除商品が陳列されていなかった棚割モデルは処理を行いません。処理を行なった棚割モデルを確認できます。

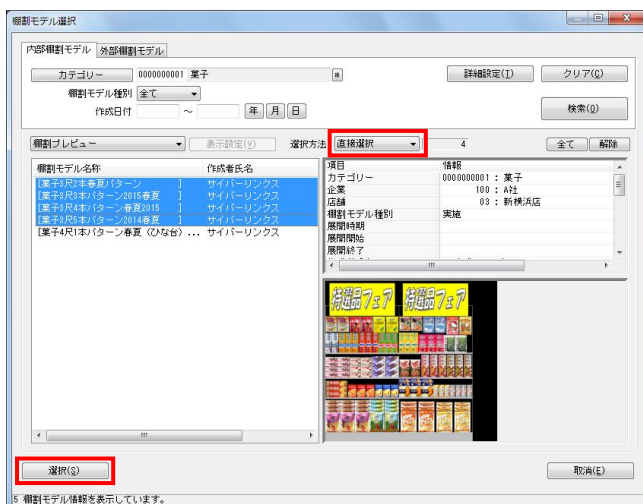
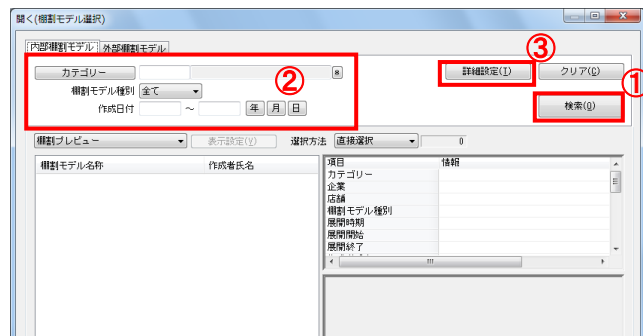
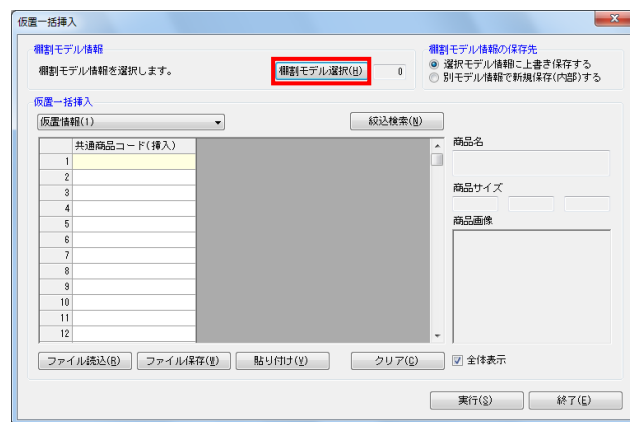
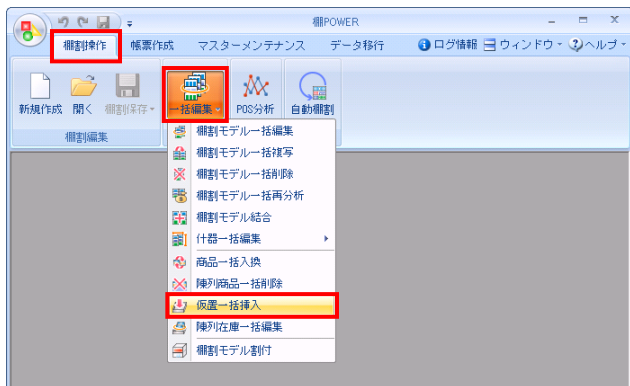


12. 「別モデル情報で新規保存 (内部) する」を選択した場合、モデル名称や棚割分類などを設定する「棚割モデル一括編集」の画面が開きます。商品一括入換後にモデルを別名で保存したい場合などは情報を変更してください。詳細は「棚割モデル一括編集」5ページを参照してください。

■仮置一括挿入

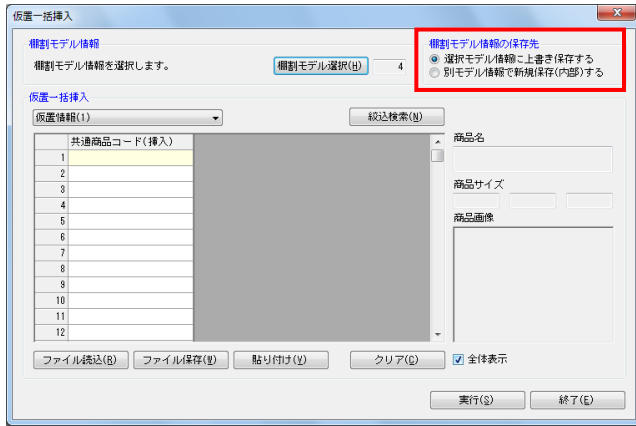
既存の棚割モデル内の「仮置情報」に商品を挿入することができます。

たとえば、棚内の陳列場所はまだ決まっていないが、陳列することは決まっている新商品などをあらかじめ複数棚割モデルの仮置情報に一括で陳列できます。

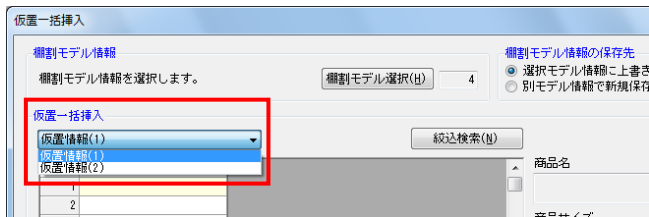


1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[棚割操作] タブ- [一括編集] をクリックし、「仮置一括挿入」を選択します。
2. 該当の棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。
3. 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。
4. [検索] をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時、[カテゴリ] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます。
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] より選択、検索できます。
5. 表示した棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押しながら、棚割モデルをクリックします。
「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。
6. [選択] をクリックします。
更に棚割モデルを追加したい時は、再度 [棚割モデル選択] をクリックして、棚割モデル選択画面より棚割モデルを選択します。
選択した棚割モデルを解除する時は [クリア] をクリックしてから、新たに棚割モデルを選択します。

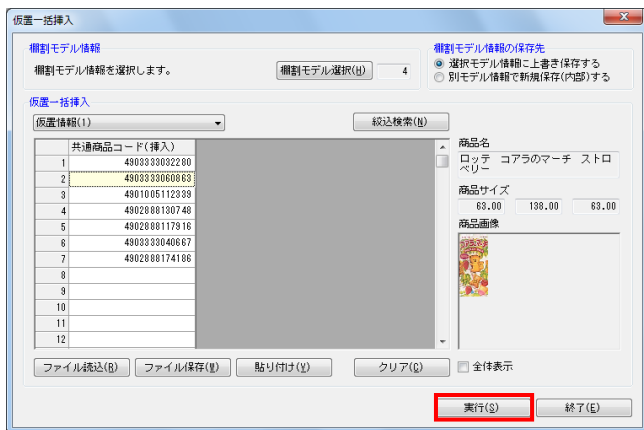
「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は [閉じる] で閉じてください。



7. 【棚割モデル情報の保存先】より、選択した棚割モデルに上書きするか、別の棚割モデルとして保存するかを選択します。（詳細は15ページ 7を参照してください。）



8. 「仮置一括挿入」より、「仮置情報 1」に挿入するか「仮置情報 2」に挿入するかを選択します。

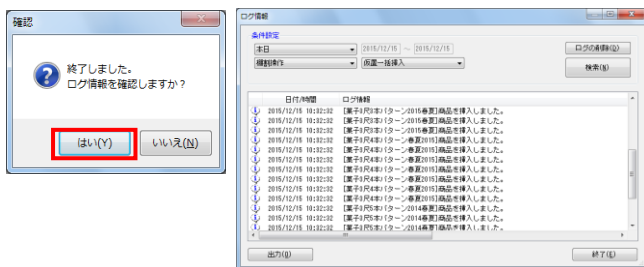


9. 「共通商品コード(挿入)」欄に、仮置情報に陳列する商品の共通商品コード(JANコード)を入力します。

参考

「ファイル読込」からは、共通商品コードを記載したExcelなどのファイルを読み込んで商品の指定ができます。読込みに使用するファイル書式は「ファイル保存」より出力可能です。また、Excelなどに記載されている共通商品コードをコピーした後、「貼り付け」をクリックして欄内にコピーした共通商品コードを貼り付けることもできます。

10. 入力後、「実行」をクリックします。



11. 実行後、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックして「ログ情報」を確認します。ログ情報画面で処理内容を確認できます。

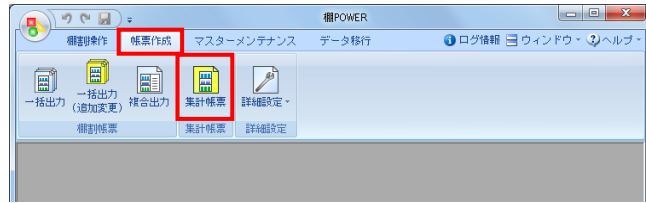


12. 「別モデル情報で新規保存(内部)する」を選択した場合、モデル名称や棚割分類などを設定する「棚割モデル一括編集」の画面が開きます。商品一括挿入後にモデルを別名で保存したい場合などは情報を変更してください。詳細は「棚割モデル一括編集」5ページを参照してください。

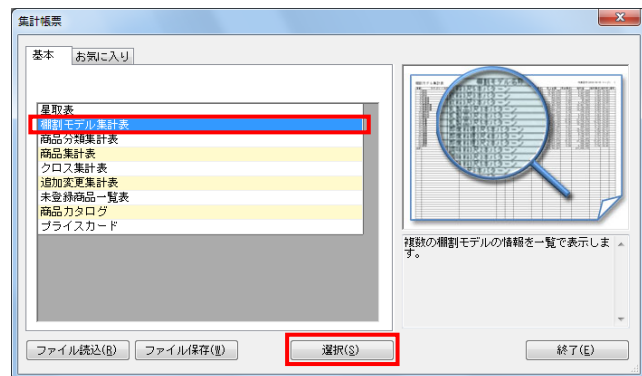
IV. 商品の取扱い状況を確認する

ここからは、選択した複数の棚割モデルの商品の取扱い数、構成などをまとめて確認できる帳票や、陳列商品の取扱い状況を棚割モデル別、店舗別に確認できる帳票、追加や変更になった商品を一覧で確認できる帳票を作成します。

■棚割モデル集計表

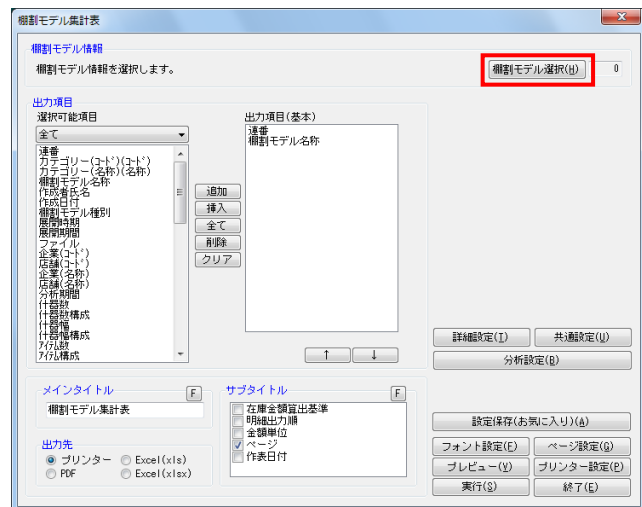


1. 開いている棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[帳票作成] タブ [集計帳票] をクリックします。



2. 集計帳票ウィンドウが表示されます。
[基本] タブ一覧より「棚割モデル集計表」をクリックして選択し、[選択] をクリックします。

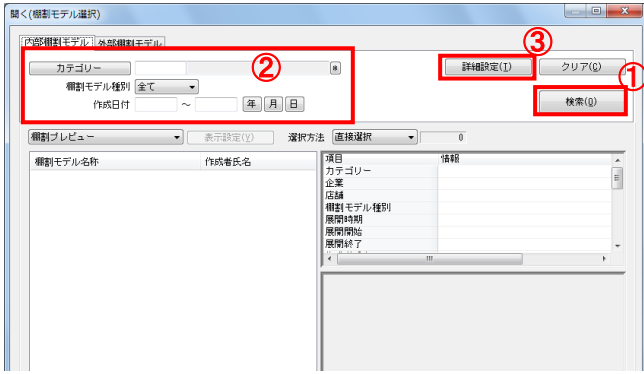
参考
帳票名をダブルクリックしても設定画面を表示させることができます。



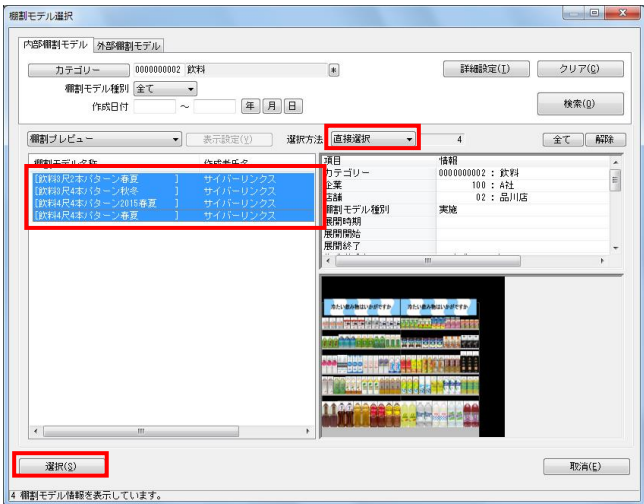
3. 確認をしたい棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。



4. 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。



5. [検索] をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時、[カテゴリー] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます。
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] より選択、検索できます。



6. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。

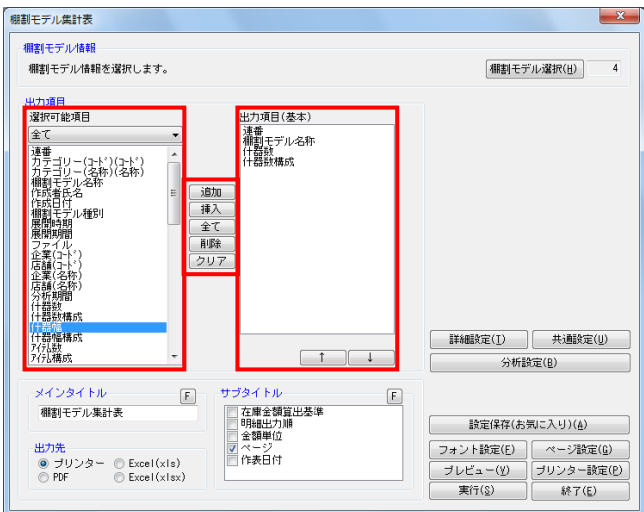
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押下しながら、棚割モデルをクリックします。

「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。

7. [選択] をクリックします。
更に棚割モデルを追加したい時は、再度 [棚割モデル選択] をクリックして、棚割モデル選択画面より棚割モデルを選択します。

選択した棚割モデルを解除する時は「クリア」をクリックしてから、新たに棚割モデルを選択します。

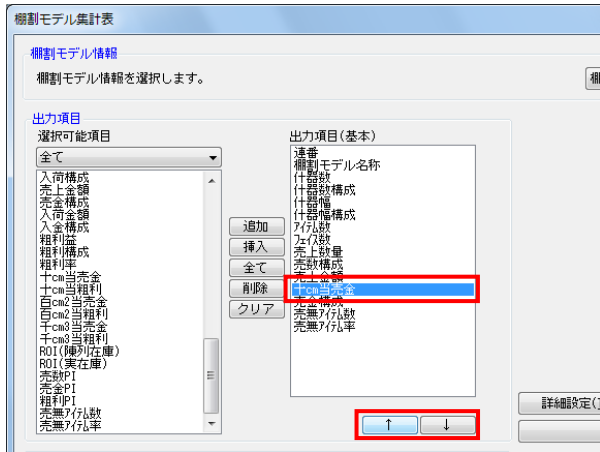
「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は「閉じる」で閉じてください。



8. 確認したい内容を「出力項目（基本）」に設定します。
左側「選択可能項目」内の確認したい項目をダブルクリックして、出力項目内に設定します。また、「出力項目（基本）」内に不要な項目があった場合は、項目名をダブルクリックして削除します。

参考

キーボードのShiftキー、Ctrlキーを押しながら項目をクリックすると範囲選択、複数選択できます。選択後 [追加] をクリックして出力項目内に設定します。

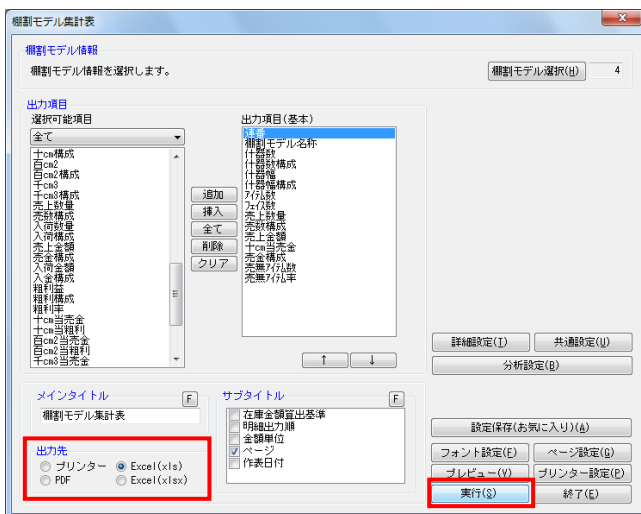


9. 出力項目の順番を変更するには、順番を変更したい項目をクリックした後、[↑]で上に移動、[↓]で下に移動します。

10. 設定が完了したら、[プレビュー]で確認します。

通番	棚割モデル名称	仕番数	仕番数構成	仕番幅	仕番幅構成	7付込数	7付込数	売上数量	売上金額	売上構成	10cm当完全	売上7付込数	売上7付込率
1	飲料4尺4本パターン2015春夏	4	28.57	4,800	29.57	68	254F	18,489,565	¥2,162,034,146	53.69	¥11,587,705	1	1.47
2	飲料4尺4本パターン春夏	4	28.57	4,800	29.57	59	252F	54,808	¥6,493,088	0.16	¥38,160	1	1.69
3	飲料3尺2本パターン春夏	2	14.29	1,835	11.30	50	120F	240,996	¥45,165,008	0.70	¥502,739	47	94.00
4	飲料3尺4本パターン秋冬	4	28.57	4,800	29.57	57	254F	15,649,104	¥1,899,472,477	45.45	¥10,197,414	3	5.26
合計		14		16,235		234	890F	34,434,473	¥4,113,165,019		¥6,355,519	52	22.22

11. 棚割モデル単位で比較することで、同じ尺数、本数でもどんな違いがあるか、売上情報を登録している場合は、どの棚割モデルの売上貢献度が高いかなどを確認できます。



12. 「出力先」より出力したい形式を選択します。「実行」をクリックして出力します。

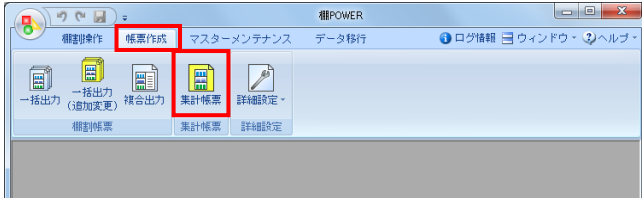
Excel, PDFを選択した場合は、「名前を付けて保存」画面が表示されるため、任意の場所を選択しファイル名を付けて保存を実行してください。

■星取表

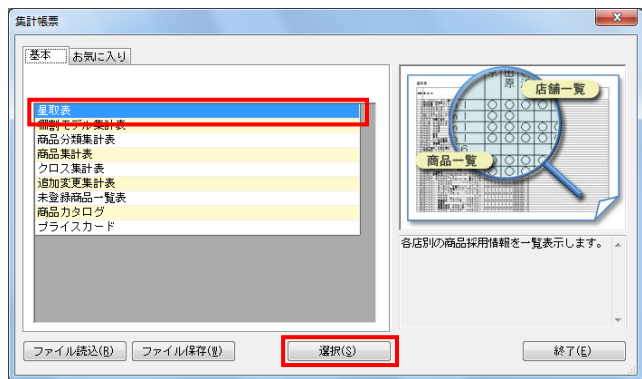
どの商品がどの棚割モデルに陳列されているか、どの店舗（または企業）で取り扱われているかといった商品の取扱い状況を星取形式で確認できる「星取表」を作成できます。

選択した複数の棚割モデル別に取扱い商品の確認、または選択した棚割モデルに割り付いている店舗別に取扱い商品の確認が可能です。

更にどの店舗にどの棚割モデルが採用されていて、取扱い商品は何かまで確認することもできます。



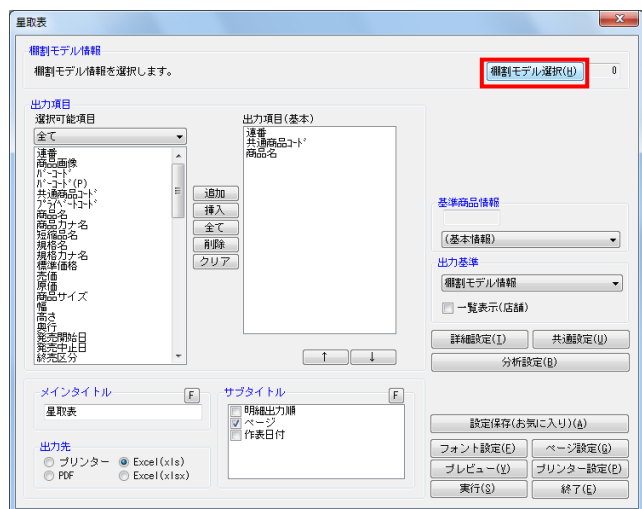
1. 表示している棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[帳票作成] タブ [集計帳票] をクリックします。



2. 集計帳票ウィンドウが表示されます。
[基本] タブ一覧より「星取表」をクリックして選択し、
[選択] をクリックします。

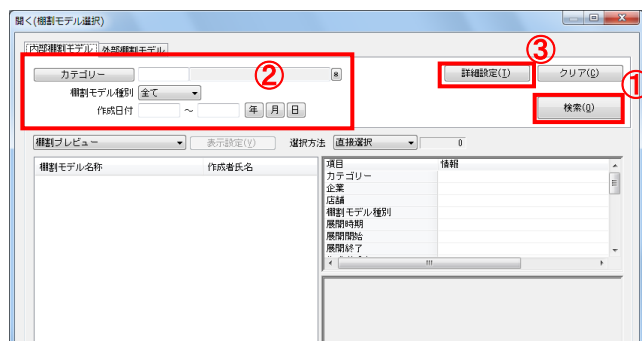
参考

帳票名をダブルクリックしても設定画面を表示させることができます。

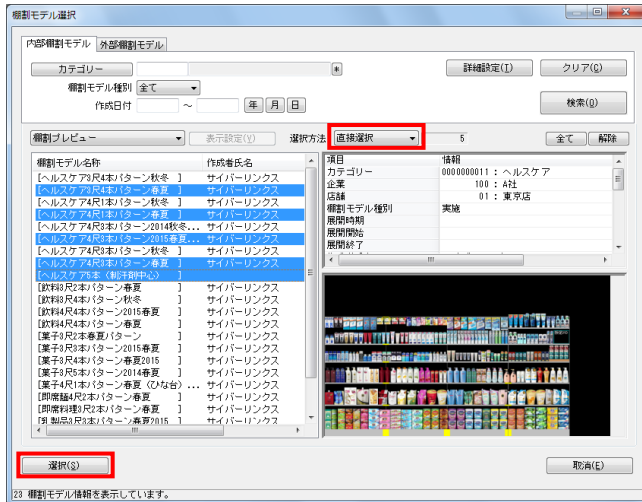


3. 取扱い状況を確認したい棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。

4. 棚割モデル情報画面が表示されます。
[棚割モデル選択] をクリックします。

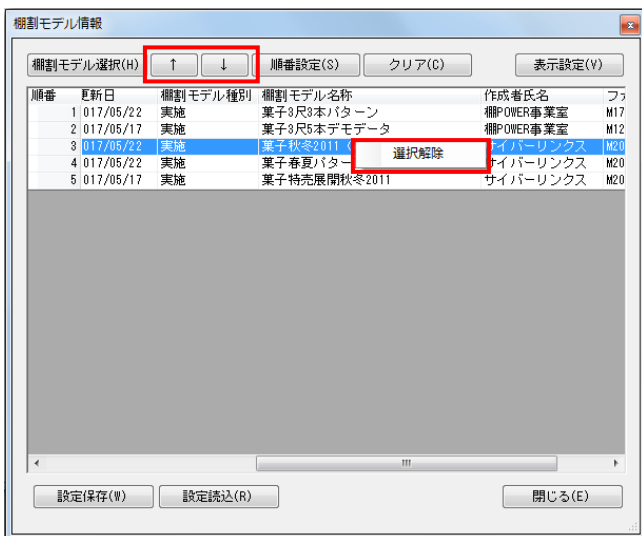


5. [検索] ①をクリックして棚割モデル一覧を表示します。
この時、[カテゴリ] や [作成日時] ②を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます。
棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] ③より選択、検索できます。



6. 表示された棚割モデルの一覧より、対象の棚割モデルを選択します。
「選択方法」が「直接選択」時はキーボードのCtrlキーを押しながら、棚割モデルをクリックします。
「チェック選択」時は、画面左のチェックボックスを有効にして選択します。

7. 「選択」をクリックします。

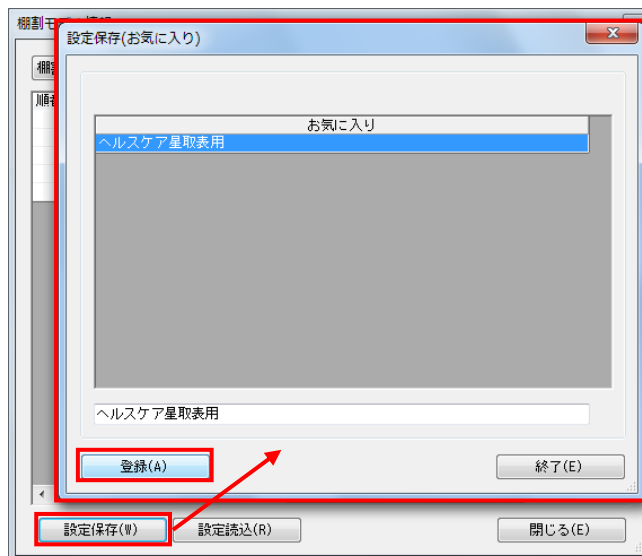


8. 選択した棚割モデルは、順番の通りに左から出力されます。
順番を変更したい場合は、棚割モデルをクリックして選択し「↑」「↓」で変更してください。

9. 更に棚割モデルを追加したい時は、再度「棚割モデル選択」をクリックして、棚割モデル選択画面より棚割モデルを選択します。

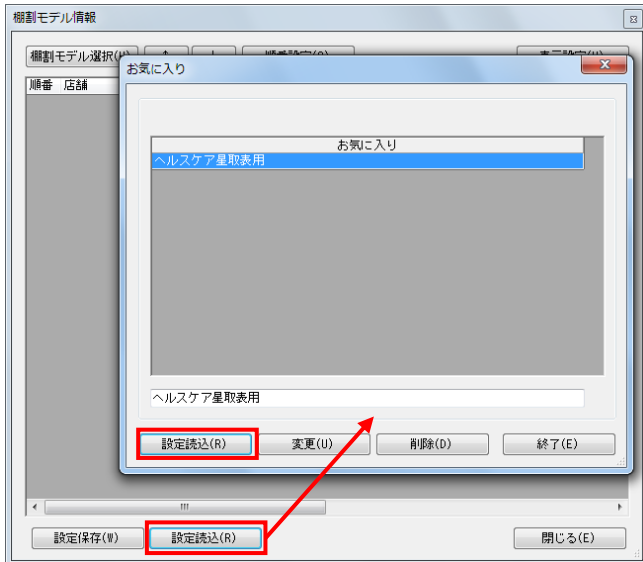
不要な棚割モデルがあった場合は、不要な棚割モデル上で右クリックして「選択解除」を選択してください。

選択した棚割モデルをすべて削除して再選択する時は「クリア」をクリックしてから、新たに棚割モデルを選択します。



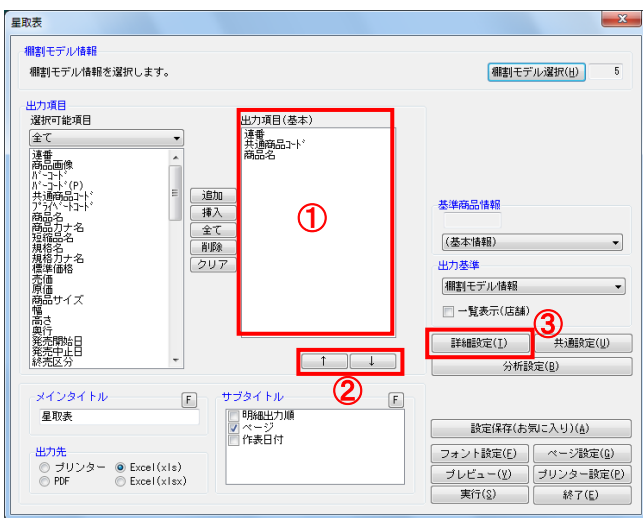
10. 後日、設定や出力項目を変えて同じ棚割モデルで星取表を作成するような場合は、「設定保存」をしておけば何度も同じ棚割モデルを選択する手間が省けます。

「設定保存」をクリックし、後から確認した時に判断できる名称を入力して「登録」します。



11. 次回作成時は、[棚割モデル選択]をクリックした後、[設定読み込]より保存した名称を選択して[設定読み込]をクリックします。
棚割モデル情報一覧に保存した時の棚割モデルが表示されます。

「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は[閉じる]で閉じてください。



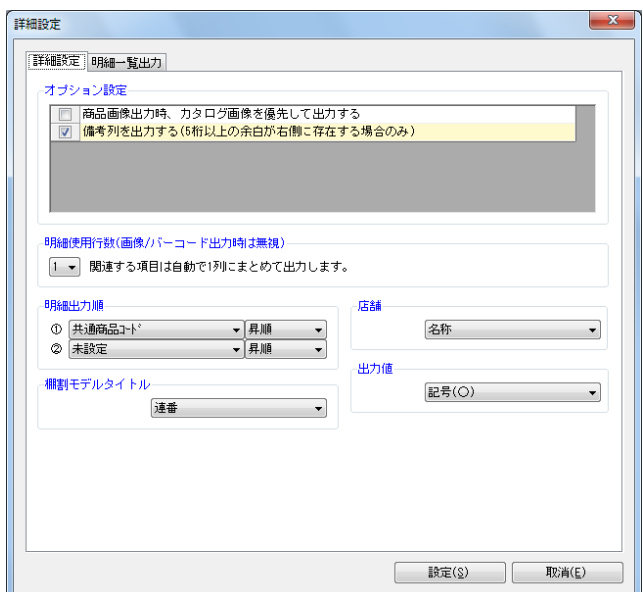
12. 確認したい内容を「出力項目(基本)」(①)に設定します。左側「選択可能項目」内の確認したい項目をダブルクリックして、出力項目内に設定します。また、「出力項目(基本)」内に不要な項目があった場合は、項目名をダブルクリックして削除します。

参考

キーボードのShiftキー、Ctrlキーを押しながら項目をクリックすると範囲選択、複数選択できます。選択後[追加]をして出力項目内に設定します。

13. 出力項目の順番を変更するには、順番を変更したい項目をクリックした後、[↑]で上に移動、[↓]で下に移動します(②)。

14. [詳細設定]で、出力する際の順番やタイトル、出力値の設定を行ないます。
[詳細設定](③)をクリックします。



15. 必要内容を選択し、設定します。

「明細出力順」

商品一覧を出力する際の順番を設定します。最大2つまで設定できます。

「棚割モデルタイトル」

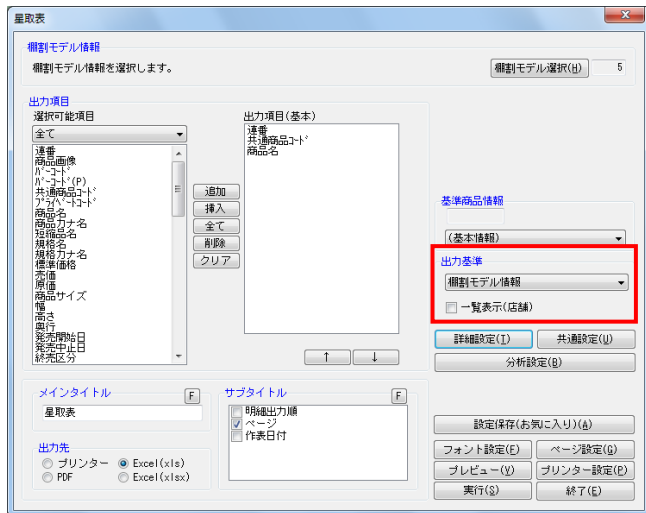
連番(数字)か棚割モデル名称かを選択します。

「店舗」

店舗出力時に店舗の名称か、コードか、その両方を出力するかを選択します。

「出力値」

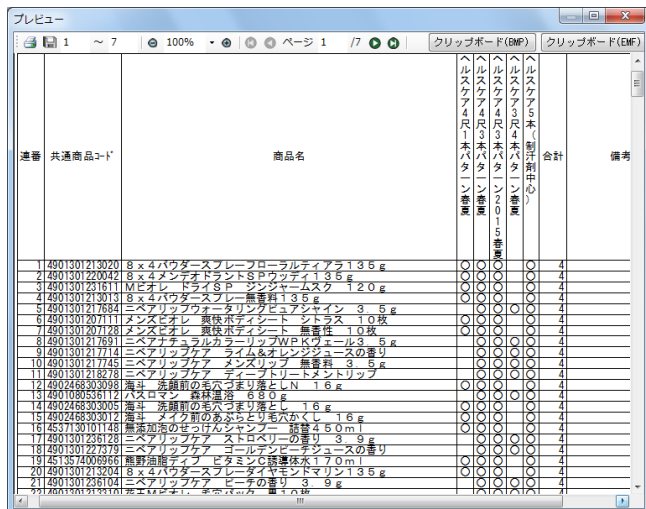
取扱い商品があった場合に「○」を表示させるか、「フェイス数」を表示させるかを選択します。



16. 【棚割モデル別に確認する】

選択した棚割モデルごとの取扱い商品一覧を作成します。
店舗（企業）の内容は出力しません。

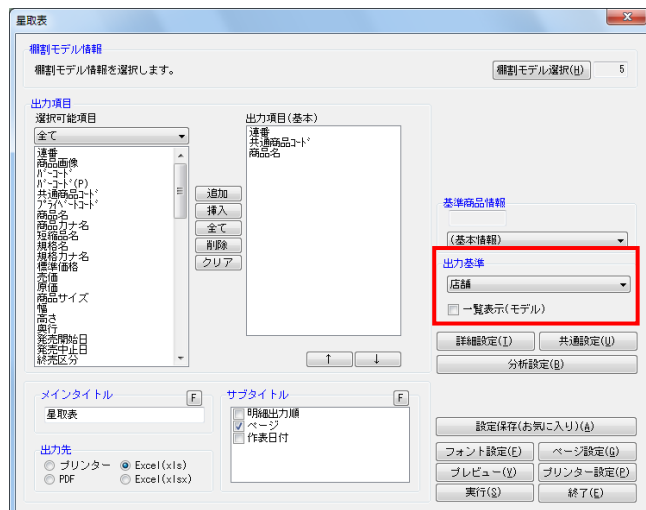
「出力基準」に「棚割モデル情報」を選択します。
「一覧表示（店舗）」は無効のままにしておきます。



17. 【プレビュー】で確認します。

棚割モデル一覧と商品の一覧が表示され、取扱いのある箇所に「O」が表示されます。

問題なければ「出力先」を選択して、印刷やExcel出力を行います。



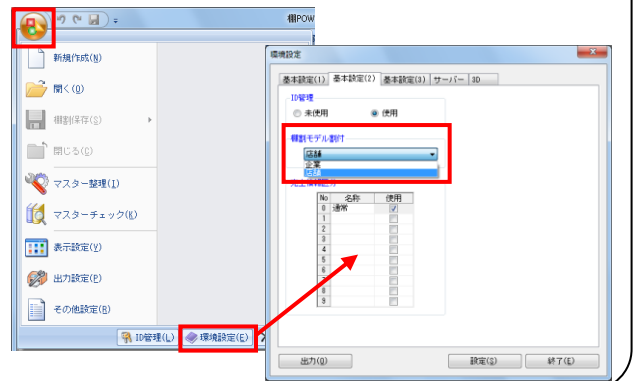
18. 【店舗（または企業）別に確認する】

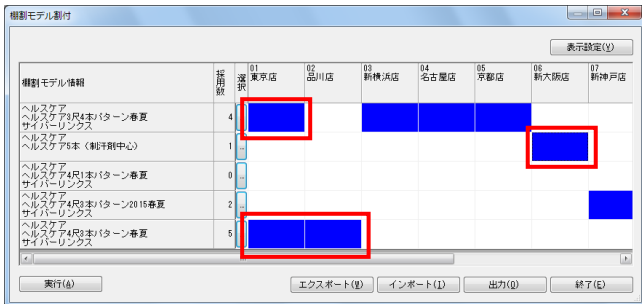
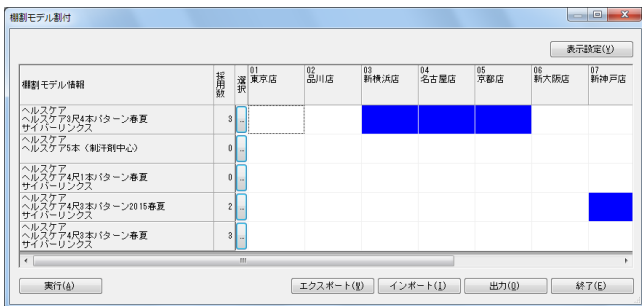
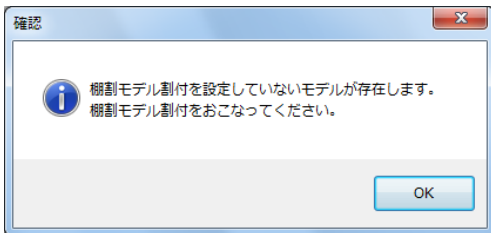
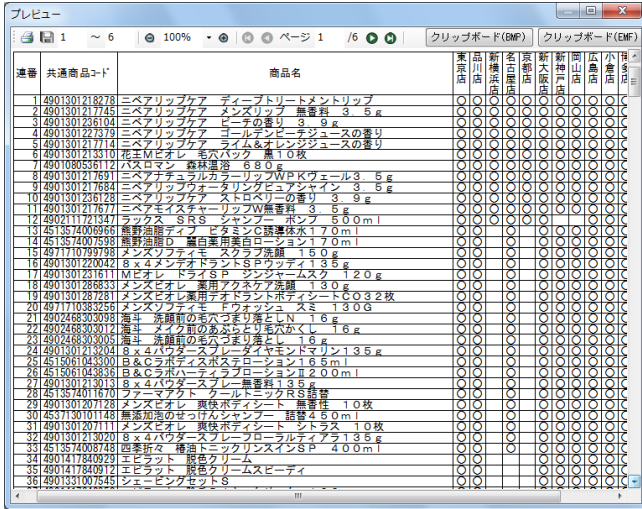
選択した棚割モデルに割り付いている店舗（企業）別に取り扱い商品一覧を作成します。
棚割モデルの内容は出力しません。

「出力基準」に「店舗（企業）」を選択します。
「一覧表示（モデル）」は無効のままにしておきます。

参考

「出力基準」に「店舗」や「企業」などのほかに、「棚割階層分類」を選択できます。希望する棚割（階層）分類が表示されていない場合は、一度星取表を終了し、画面左上の棚POWERボタン（丸ボタン）より「環境設定」を選択し、「基本設定（2）」内の「棚割モデル割付」で希望の棚割（階層）分類を選択し設定してください。





19. 「プレビュー」で確認します。
店舗一覧と商品の一覧を表示され、取扱いのある箇所に
「○」を表示されています。

問題なければ「出力先」を選択して、印刷やExcel出力を行います。

20. プレビューや出力時に「棚割モデル割付を設定していないモデルが存在します。棚割モデル割付をおこなってください。」画面が表示された場合は、[OK]を押下して棚割モデル割付の設定を行ってください。

21. 「棚割モデル割付」では、選択した棚割モデルと店舗（または企業）の割り付けを行ないます。たとえば、「ヘルスケア3尺4本パターン春夏」は「新大阪店」「名古屋店」「京都店」、「ヘルスケア4尺3本パターン2015春夏」は「新神戸店」というように、どの店舗にどの棚割モデルを採用しているかの設定を行ないます。

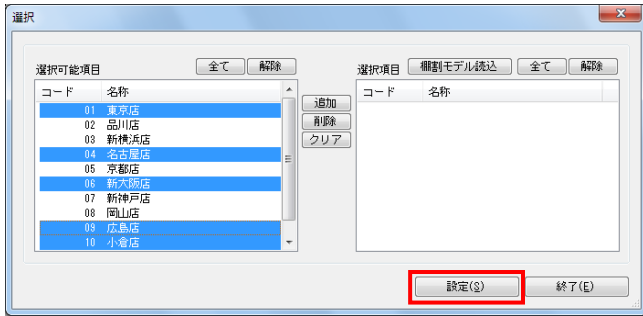
22. 棚割モデルと店舗（企業）が交差する場所をダブルクリックします。
クリックした箇所が青く変わります。これで割り付けがされました。

または、キーボードの方向キー（←↑↓→）で移動し、スペースキーを押下することでも割り付け作業が可能です。

参考

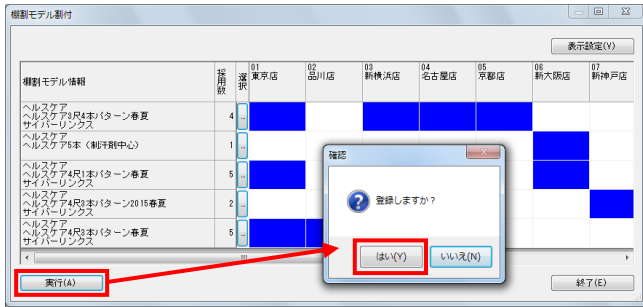
まとめて割り付けを行なう場合、画面下部の「エクスポート」の機能を使って、Excelファイルを出力できます。Excelファイルを編集し、「インポート」することでまとめて店舗の割り付けが可能です。

23. 設定する店舗数が多い場合は、[選択] 下のセレクトボタンをクリックして、一括設定を行ないます。



24. 左側「選択可能項目」に店舗（企業）一覧が表示されるため、割付けたい店舗（企業）をキーボードのShiftキー、Ctrlキーを押下しながら範囲選択、複数選択し、[追加]をクリックします。

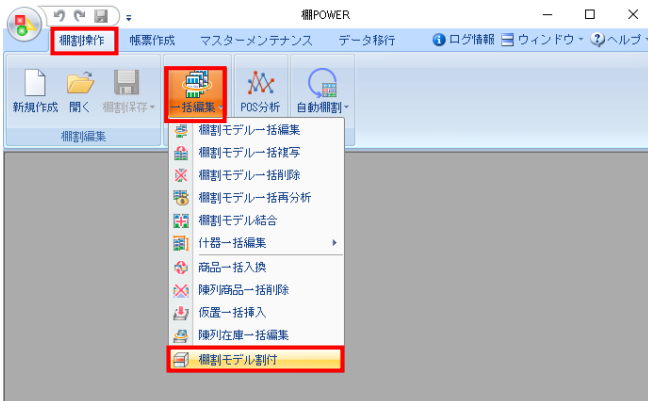
25. 右側に選択した一覧が表示されるため、問題なければ[設定]をクリックします。



26. すべての棚割モデルと店舗（企業）の割り付けが完了したら、[実行]をクリックし、確認メッセージを[はい]で続行します。

完了後メッセージの[OK]をクリックし、棚割モデル割付を[終了]をクリックして閉じます。

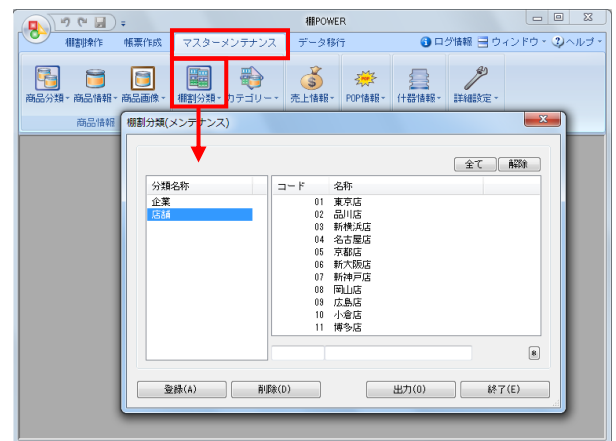
27. 星取表のプレビュー、または実行が続行されます。

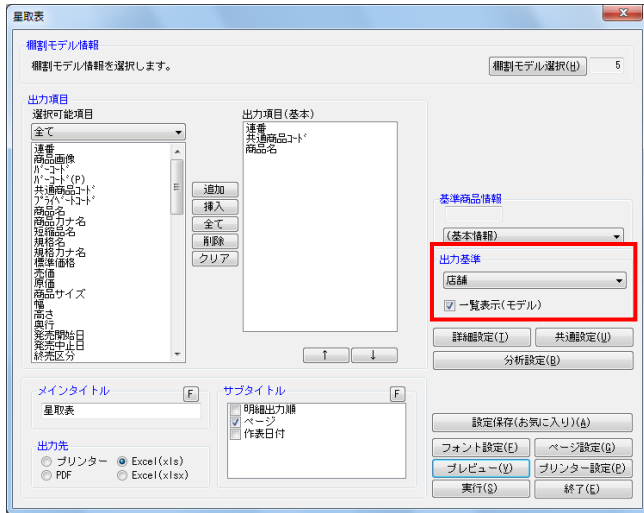


28. 先に棚割モデル割付の内容を変更したい、後から修正したい場合は、[棚割操作]タブ - [一括編集] - 「棚割モデル割付」より実行してください。

参考

一覧に選択する店舗（企業）が存在しない場合は、[マスターメンテナンス] - [棚割分類] より「店舗（企業）」を追加登録してください。

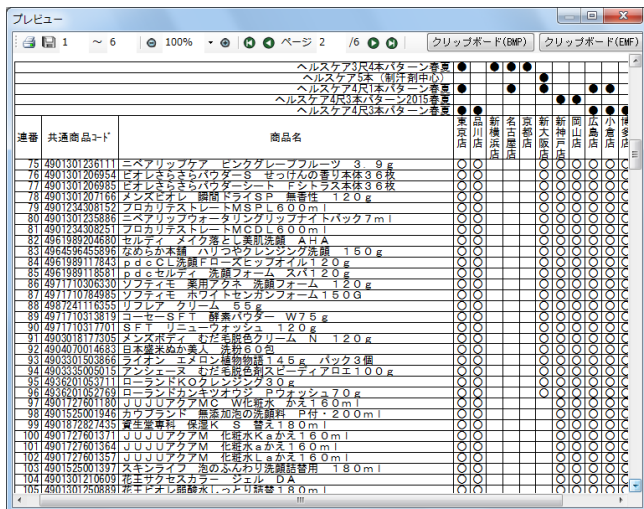




29. 【棚割モデル別、店舗（または企業）別に確認する】
棚割モデルごと、店舗ごとに取り扱い商品を確認する他に、棚割モデル・店舗の両方を表示して、どの店舗にどの棚割モデルがあり、何の商品があるのかもまとめて確認できます。

「出力基準」に棚割モデルを基準にして表示する場合は「棚割モデル情報」を、店舗（企業）を基準にして表示する場合は「店舗（企業）」を選択します。

30. 「出力基準」の選択により、下の「一覧表示」は「一覧表示（店舗/企業）」か「一覧表示（モデル）」が表示されるため、チェックボックスを有効にします。



31. 【プレビュー】で確認します。

32. 問題なければ「出力先」を選択して、印刷やExcel出力を行ないます。

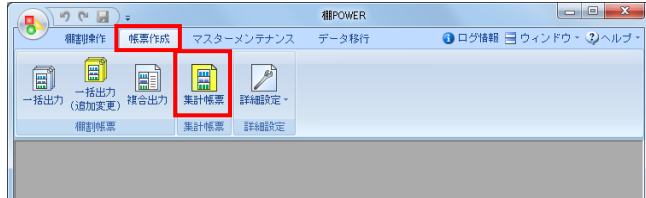
プレビューや出力時に「棚割モデル割付を設定していないモデルが存在します。棚割モデル割付をおこなってください。」画面が表示された場合は、[OK]を押下して棚割モデル割付の設定を行なってください。
詳細は30ページ 20～26を参照してください。

■追加変更集計表

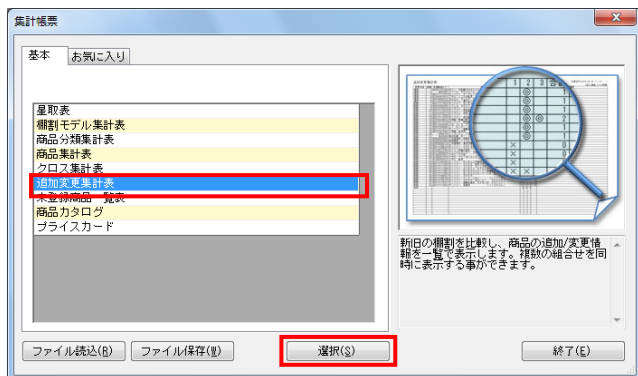
複数の棚割モデル同士を比較して、追加、削除、位置変更などの変更情報を一覧で確認できます。

また、店舗（または企業）の情報も同時に出力できるため、星取表に変更情報を追加した形式で確認、出力が可能です。

追加変更一覧表は棚割モデルを1対1で比較して追加、削除などの変更内容を1組み合わせ1ファイル（またはExcel出力時1シート）に出力しますが、この追加変更集計表は複数棚割モデルを1対1で比較した変更内容を、複数組み合わせ分1ファイル（またはExcel出力時1シート）に出力できます。

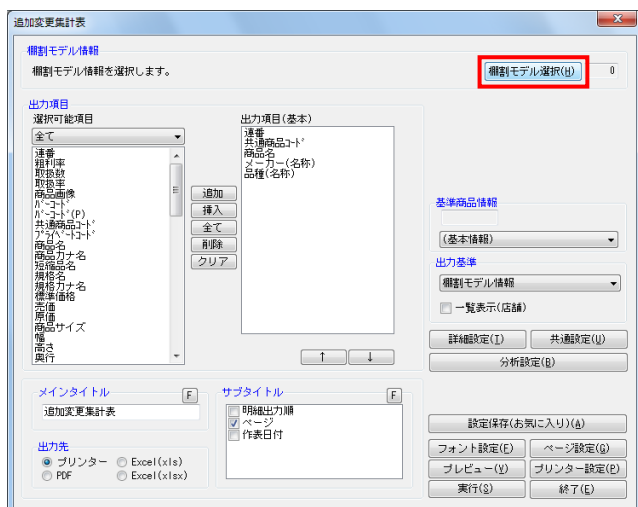


1. 表示している棚割モデルがあれば、すべて閉じます。
[帳票作成] タブ [集計帳票] をクリックします。
集計帳票ウィンドウが表示されます。

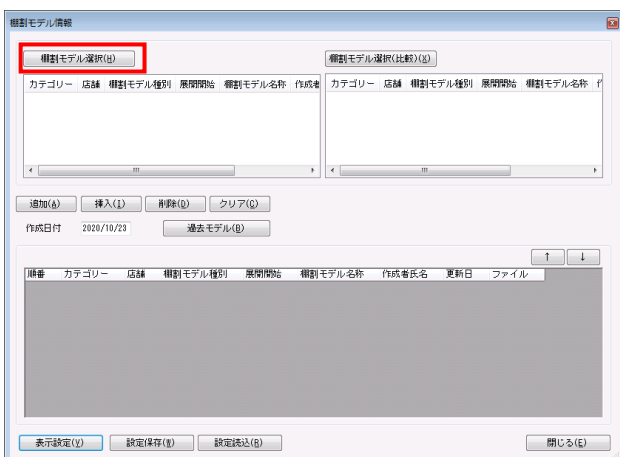


2. [基本] タブ一覧より「追加変更集計表」をクリックして選択し、[選択] をクリックします。

参考
帳票名をダブルクリックしても設定画面を表示させることができます。



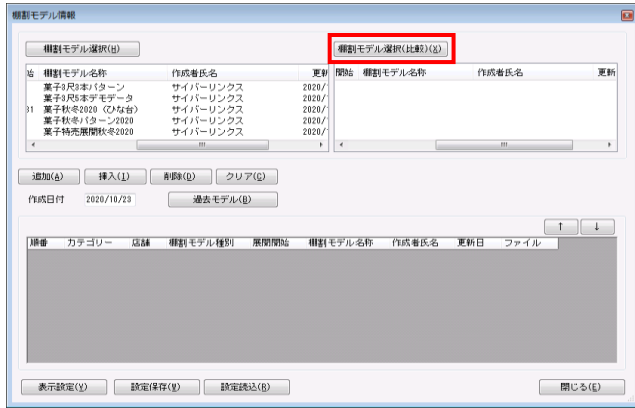
3. 比較する棚割モデルを選択します。
[棚割モデル選択] をクリックします。



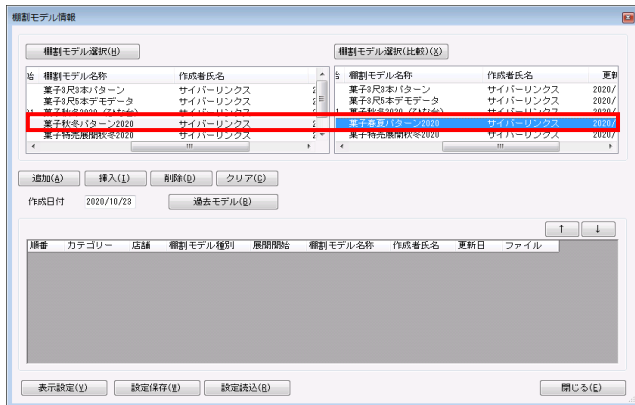
4. 棚割モデル情報画面で、どの棚割モデル同士を比較させるかの組み合わせを作成します。

[棚割モデル選択] からは、基準となる棚割モデルを選択します。陳列変更前と変更後の棚割モデルを比較する場合であれば、変更後の新しく編集した棚割モデルをこちらに呼出し、選択します。

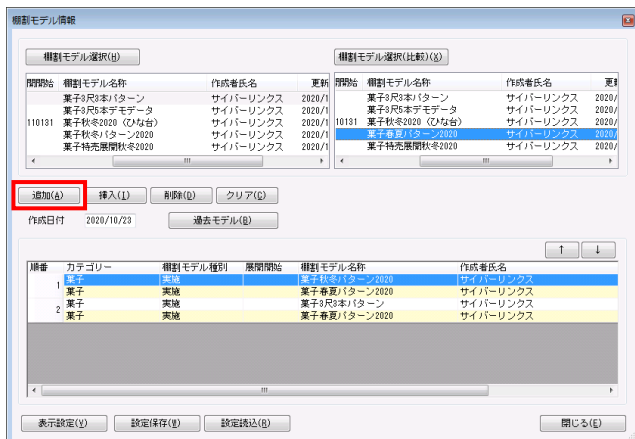
参考
作成日付を元に自動で組み合わせを作成する場合は、作成日付を指定し [過去モデル] をクリックすると、指定した日付を元に直近過去の棚割モデルを自動で検索し組み合わせを設定します。画面下部に作成された組み合わせを確認し、「棚割モデル情報」画面は、横にずらしておくか [閉じる] で閉じます。



5. 「棚割モデル選択(比較)」には、比較対象の棚割モデルを選択します。陳列変更前の古い棚割モデルをこちらに呼出し、選択します。最大パターンと比較する場合は、こちらに最大パターンの棚割モデルを選択します。



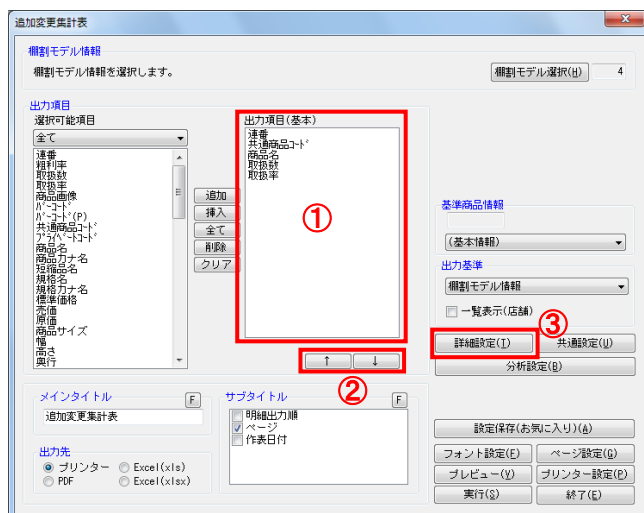
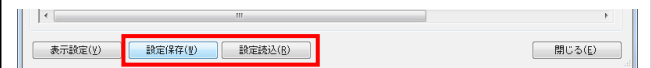
6. 「棚割モデル選択」一覧内の棚割モデルをクリックします。
7. 「棚割モデル選択」で選択した基準の棚割モデルと比較する棚割モデルを「棚割モデル選択(比較)」一覧よりクリックして選択します。



8. 「追加」をクリックします。
画面下部に組み合わせた棚割モデルが表示されます。
- 「棚割モデル情報」画面は横にずらしておくか、非表示にしたい場合は「閉じる」で閉じてください。

参考

組み合わせた棚割モデルを残しておきたい場合は、「設定保存」より保存できます。保存した組み合わせは「設定読込」より呼出して同じ棚割モデルで作成することができます。詳細は27ページ 10をご確認ください。

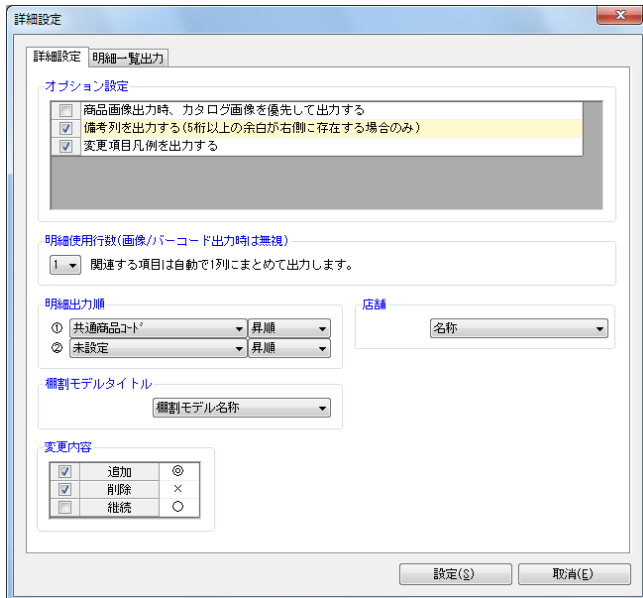


9. 確認したい内容を「出力項目(基本)」に設定します。
左側「選択可能項目」内の確認したい項目をダブルクリックして、出力項目内に設定します。また、「出力項目(基本)」内に不要な項目があった場合は、項目名をダブルクリックして削除します。(①)

参考

キーボードのShiftキー、Ctrlキーを押しながら項目をクリックすると範囲選択、複数選択できます。選択後「追加」をして出力項目内に設定します。

10. 出力項目の順番を変更するには、順番を変更したい項目をクリックした後、[↑]で上に移動、[↓]で下に移動します。(②)
11. 「詳細設定」で、出力する際の順番やタイトル、変更内容の設定を行ないます。(③)



12. 必要内容を選択し、設定します。

「明細出力順」

商品一覧を出力する際の順番を設定します。最大2つまで設定できます。

「棚割モデルタイトル」

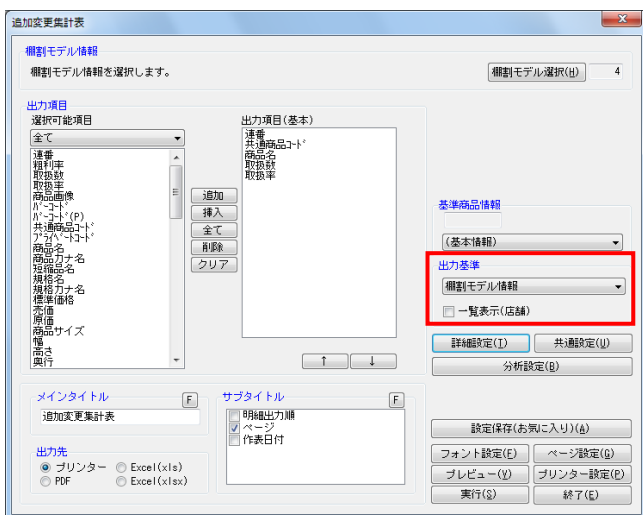
連番（数字）か棚割モデル名称かを選択します。

「店舗」

店舗出力時に店舗の名称か、コードか、その両方を出力するかを選択します。

「変更内容」

どんな比較結果を出力するかを選択します。それぞれチェックボックスを有効にした内容を出力します。



13. 【追加変更の一覧を出力する】

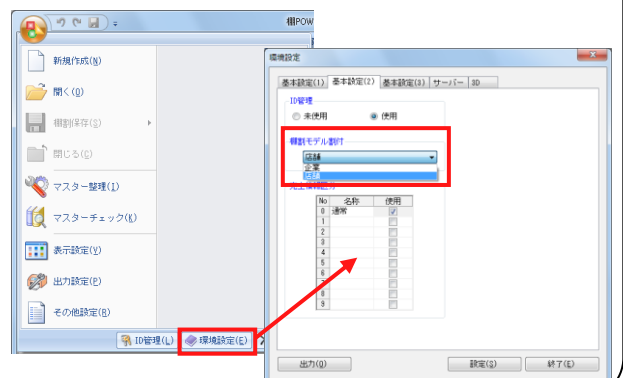
選択した棚割モデルの比較結果を一覧表示します。店舗などの棚割分類の内容は出力しません。

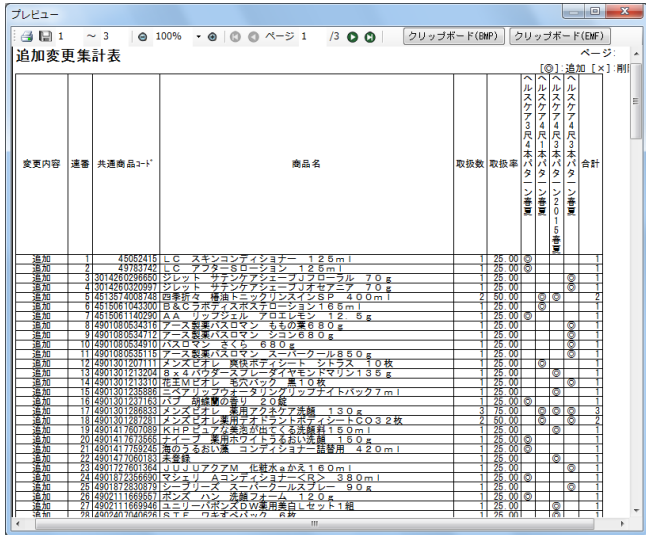
「出力基準」を「棚割モデル情報」にします。

「一覧表示（店舗または企業）」は無効のままにしておきます。

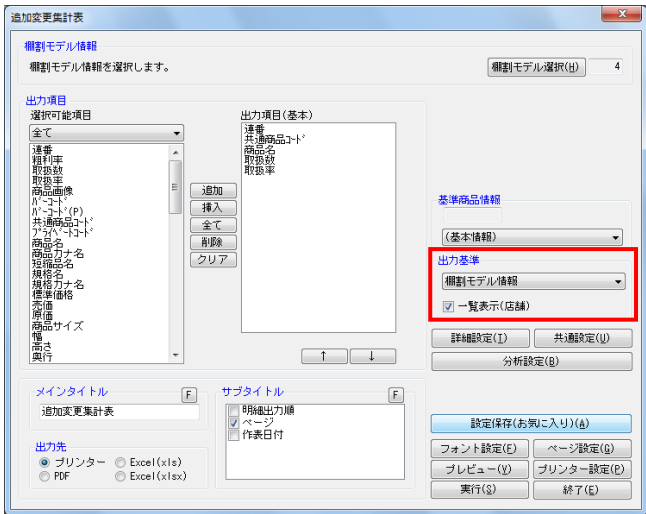
参考

「出力基準」に「店舗」や「企業」などのほかに、「棚割階層分類」を選択できます。希望する棚割（階層）分類が表示されていない場合は、一度星取表を終了し、画面左上の棚POWERボタン（丸ボタン）より「環境設定」を選択し、[基本設定（2）]内の「棚割モデル割付」で希望の棚割（階層）分類を選択し設定してください。





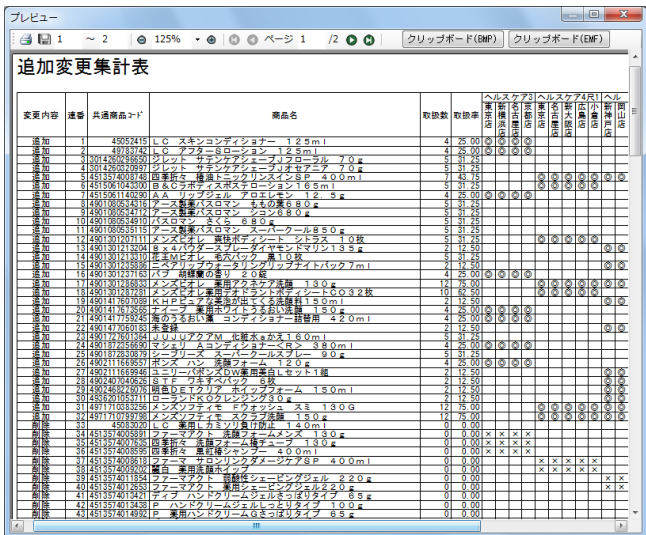
14. [プレビュー] で確認します。
問題なければ「出力先」を選択して、印刷やExcel出力を行います。



15. 【追加変更の一覧に店舗（または企業）の内容を加えて出力する】
星取表に追加変更の内容を追加した一覧を出力します。

「出力基準」に棚割モデルを基準にして表示する場合は「棚割モデル情報」を、店舗（企業）を基準にして表示する場合は「店舗（企業）」を選択します。

16. 「出力基準」の選択により、下の「一覧表示」は「一覧表示（店舗/企業）」か「一覧表示（モデル）」が表示されるため、チェックボックスを有効にします。



17. [プレビュー] で確認します。
問題なければ「出力先」を選択して、印刷やExcel出力を行ないます。

参考

プレビューや出力時に「棚割モデル割付を設定していないモデルが存在します。棚割モデル割付をおこなってください。」画面が表示された場合は、[OK]を押下して棚割モデル割付の設定を行ってください。
詳細は30ページ 20～26を参照してください。

以上で「棚POWER操作テキスト 一括編集・応用編」は終了です。

- ※ 棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
- ※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

スペースマネジメントシステム

棚POWER[®]

一括編集・応用編

2023 年 5 月発行（第 6 版）



発 行

株式会社 **サイバーリンクス**
棚POWER サポートセンター